

令和5年度 教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

理論と実践の往還を通じた教育実習等の在り方に関する研究

【調査結果の概要：短期大学編】

令和6年3月

大阪教育大学

目 次

はじめに.....	1
1. 調査方法の概要.....	2
(1) 調査方法.....	2
(2) 回答大学について.....	2
2. 調査結果の概要.....	4
【1】教育実習の実態.....	4
(1) 取得可能な教員免許状の種類.....	4
(2) 教育実習の実施日数.....	4
(3) 教育実習の実施時期.....	5
(4) 実習と大学の授業の重なり.....	6
(5) 実習校の種類.....	7
(6) 学校体験活動の実施.....	9
(7) 学校体験活動の教育実習への位置付け.....	10
(8) 教育実習における学校体験活動の日数.....	11
(9) 令和4年度の学校体験活動の実績.....	12
(10) 令和4年度の学校体験活動の日数.....	12
(11) 学校体験活動の単位化.....	13
(12) 学校体験活動の単位数と実施時期.....	14
(13) 事前指導の実施時期.....	14
(14) 事前指導の実施回数.....	16
(15) 事前指導の内容.....	16
(16) 事前指導の実施方法.....	17
(17) 事後指導の実施時期.....	18
(18) 事後指導の実施回数.....	19
(19) 事後指導の内容.....	19
(20) 事後指導の実施方法.....	20
(21) 教育実習の目標の設定.....	21
(22) 教育実習の活動内容の設定.....	21
(23) 評価表の作成.....	22
(24) 評価方法.....	22
(25) 教育実習の活動内容.....	23

(26) 実習に位置付いた学校体験活動の活動内容	24
(27) 実習生の退勤時刻の管理	25
(28) 実習経費の支払い	25
(29) 実習生の負担感の把握	26
(30) 大学の指導教員の役割	26
(31) 合理的配慮や支援を必要とする学生への対応	27
(32) 実習記録の媒体	27
(33) 教育実習におけるICT活用	28
(34) 働き方改革を受けて教育実習のあり方の変化	28
(35) 実習校での実習指導のありかた	29
(36) 実習指導教員への指導やサポート	30
(37) 実習受入のメリットややりがいの提供	31
(38) 困り事やトラブルへの対応	31
(39) ハラスメント対応の学生周知	32
(40) ハラスメントへの対応	32
(41) 臨時休業の場合の教育実習の実施方針	33
(42) 介護等体験の実施先	34
(43) 介護等体験と教育実習等の関連	34
(44) 在外教育施設における教育実習の実績	34
 【2】中教審答申を受けた教育実習のあり方	35
(1) 教育実習実施の早期化	35
(2) 早期化の影響	36
(3) 教育実習実施の分散化	39
(4) 分散化の影響	40
(5) 教育実習の実施曜日等の固定化	44
(6) 実施曜日等固定化の影響	45
(7) 学校体験活動と大学の授業の結びつき	49
(8) 教育実習と大学の授業の結びつき	51
(9) 省察の活動	53
 おわりに	58

はじめに

大阪教育大学では、文部科学省より「令和5年度 教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」を受託し、実施テーマ3「理論と実践の往還を通じた教育実習等の在り方に関する研究」をおこないました。本調査結果は、この研究の成果報告の1つで、短期大学のwebアンケート調査の回答結果をまとめたものです。

本研究では、教員養成大学や教職課程を有する国公立の短期大学および4年制大学にwebアンケート調査とグループインタビュー調査をおこない、教育実習の実態や、中教審答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」において示された教育実習のあり方等についての意見を取りまとめ、それらを参考にして、「教育効果の改善に資する教育実習等実施のガイドライン」を作成しました。

ガイドラインやその他の調査結果は、下記のURLからご覧いただけます。ご一読いただきますれば幸いです。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/faculty/practice/tyosakenkyu/guideline.html>

なお、末筆になりましたが、本調査にご回答いただきました各大学の教職員の皆様、インタビュー調査にご回答くださいました各大学の教員の皆様、ご多忙にもかかわらず長時間にわたる回答作業にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

また、本調査に取り組むにあたり、大阪府教育委員会、大阪市教育局、堺市教育局、八尾市教育局、柏原市教育局、羽曳野市教育局、奈良県香芝市教育局、近畿大学、畿央大学の教職員の皆様から有意義なご指摘やご意見をいただきました。この場をお借りして改めて心より感謝申し上げます。

令和6年3月

大阪教育大学 石川 聡子

1. 調査方法の概要

(1) 調査方法

Google formを用いて作成したwebフォームを用いて、webアンケート調査をおこないました。

国内の731の国公立の短期大学および4年制大学(以後、大学と表記)に調査回答を依頼し、調査実施期間令和5年9月8日から10月6日の間に345の大学から回答を得ました。

そのうちの6大学からそれぞれ2回の回答があったため、これらの大学からの回答について、先に届いた回答を有効回答とし、後に届いた回答を無効回答としました。その結果、有効回答数339、回答率46.4%でした。

webフォームにおける調査項目は、後掲の調査結果の概要において、それぞれ調査結果と合わせて記載しています。また、自由記述については、【全体編】にまとめて記載しています。

(2) 回答大学について

339の回答大学の短期大学・4年制の別、国立・公立・私立の別ならびに所在地域は次の通りです(図表1)。

339回答大学の免許取得パターンは多様であることから、免許取得のパターンに類似性がある大学をグルーピングしました(図表2)。同一グループに属する大学には、類似の免許取得パターンより、教育実習の実施等にも共通の特徴があることが考えられます。

グループAからグループIまでの9つのグループで、免許取得パターンの特徴を区別しました。

グループAは、中学校一種および高等学校一種が取得可能な4年制大学と、これらに加えて特別支援、養護教諭、栄養教諭の一種および二種の免許の中のいくつかも取得可能な4年制大学のグループであり、このグループに属する大学数は121、割合にすると35.7%と最も多いグループです。

次が、該当大学数110、32.5%を占めるグループBで、幼稚園一種、小学校一種、中学校一種、高等学校一種が取得可能な4年制大学と、これらに加えて特別支援、養護教諭、栄養教諭の一種および二種免許の中のいくつかも取得可能な4年制大学です。グループCは短期大学で構成されており、幼稚園二種免許が取得可能な短期大学、さらにこれに加えて小学校、中学校、養護教諭、栄養教諭の二種免許の中のいくつかも取得可能な短期大学

図表1 回答大学

	国立大学		公立大学		私立大学		計		
	短期大学	4年制大学	短期大学	4年制大学	短期大学	4年制大学	短期大学	4年制大学	
北海道	0	2	0	0	3	10	3	12	15 (4.4)
東北	0	2	0	4	5	7	5	13	18 (5.3)
関東	0	7	0	3	14	35	14	45	59 (17.4)
東京	0	6	0	1	1	37	1	44	45 (13.3)
中部	0	5	0	5	5	32	5	42	47 (13.9)
近畿	0	7	0	4	9	55	9	66	75 (22.1)
中国	0	4	1	5	3	13	4	22	26 (7.7)
四国	0	4	0	1	1	4	1	9	10 (3.0)
九州	0	7	1	4	9	23	10	34	44 (13.0)
計	0	44	2	27	50	216	52	287	
	44 (13.0)		29 (8.6)		266 (78.4)		339 (100.0)		

図表2 回答大学の免許取得パターン

グループ	取得免許の組み合わせパターン	大学数と割合 (n=339)	
A	中学校一種および高等学校一種が取得できる4年制大学。これらに加えて特支、養護、栄養や二種免が取得可能な大学も含む。	121	35.7%
B	幼稚園一種、小学校一種、中学校一種、高等学校一種が取得できる4年制大学。これらに加えて特支、養護、栄養や二種免が取得可能な大学も含む。	110	32.5%
C	幼稚園二種が取得できる短期大学。このほか、小学校、中学校、養護、栄養の二種免などが取得可能な短期大学も含む。	48	14.2%
D	幼稚園一種および小学校一種が取得できる4年制大学。これらに加えて中学校、特支、養護、栄養などが取得可能な大学も含む。	14	4.1%
E	高等学校一種が取得できる4年制大学。このほか、特支や養護が取得可能な大学も含む。	10	3.0%
F	養護教諭一種もしくは栄養教諭一種、これら両方が取得できる4年制大学。	9	2.7%
G	小学校一種、中学校一種、高等学校一種が取得できる4年制大学。これらに加えて特支や養護、二種免が取得可能な大学も含む。	9	2.7%
H	幼稚園一種、中学校一種、高等学校一種が取得できる4年制大学。これらに加えて特支、養護、栄養が取得可能な大学も含む。	8	2.4%
I	上記以外の組み合わせで免許を取得できる大学。	10	3.0%
計		339	100.0%

があり、その該当大学数は48(14.2%)です。

その他、グループDは、幼稚園一種、小学校一種が取得可能な4年制大学と、これらに加えて中学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭の一種および二種の免許の中のいくつかも取得可能な4年制大学が属し、14大学(4.1%)あります。グループE(10大学、3.0%)は高等学校一種およびこれに加えて特支や養護教諭の免許取得も可能な大学、グループF(9大学、2.7%)は養護教諭、栄養教諭、これら両方の取得が可能な大学、グループG(9大学、2.7%)は小学校、中学校(二種も含む)および高等学校の取得可能な大学、そしてこれらに加えて特別支援、養護教諭、栄養教諭の中のいくつかも取得可能な大学、グループH(8大学、2.4%)は幼稚園、中学校、高等学校の免許取得が可能な大学、そしてこれらに加えて特別支援、養護教諭、栄養教諭の中のいくつかも取得可能な大学です。

グループIは上記以外の組み合わせで免許取得が可能な大学(10大学、3.0%)でした。

以上のグループA、B、Cを合わせると全体の8割以上を占めていることから、webアンケート調査の結果について、339のすべての回答を集計した【全体編】の他に、グループAに当てはまる大学の回答を集計した【中・高免取得大学編】、グループBの大学の回答を集計した【幼・小・中・高免取得大学編】、同じくグループCの【短期大学編】の合わせて4つの調査結果の概要を作成しました。

本【調査結果の概要・短期大学編】は、グループCの調査結果の概要です。

2. 調査結果の概要

【1】教育実習の実態

(1) 取得可能な教員免許状の種類

質問文：

貴学において取得可能な教員免許状の種類等について、該当するものすべてを選択してください。

図表【1】(1) 取得可能な免許種別

免許種		回答数と割合(%)	
幼稚園	一種および二種	0 (0.0)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	47 (100.0)	
	なし	0 (0.0)	
小学校	一種および二種	0 (0.0)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	5 (10.6)	
	なし	42 (89.4)	
中学校	一種および二種	0 (0.0)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	4 (8.5)	
	なし	43 (91.5)	
高等学校	一種のみ	0 (0.0)	47 (100)
	なし	47 (100.0)	
特別支援	一種および二種	0 (0.0)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	0 (0.0)	
	なし	47 (100.0)	
養護教諭	一種および二種	2 (4.3)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	2 (4.3)	
	なし	43 (91.5)	
栄養教諭	一種および二種	0 (0.0)	47 (100)
	一種のみ	0 (0.0)	
	二種のみ	10 (21.3)	
	なし	37 (78.7)	

(2) 教育実習の実施日数

質問文：

貴学が定めている教育実習の実施日数は何日ですか。免許種ごとに回答してください。

また、「〇日間以上」等の場合は「〇日」の数字部分を回答してください。

図表【1】(2) 教育実習の実施日数

	幼稚園	小学校	中学校	養護教諭	栄養教諭
	回答数(%)	回答数(%)	回答数(%)	回答数(%)	回答数(%)
8日未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (90.0)
8日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)
9日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10日	6 (12.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
11日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
12日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
13日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
14日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
15日	10 (21.3)	3 (60.0)	4 (100.0)	3 (75.0)	0 (0.0)
16日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
17日	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
18日	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
19日	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20日	27 (57.4)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
21日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)
22日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
23日	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
24日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
25日以上	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	47 (100.0)	5 (100.0)	4 (100.0)	4 (100.0)	10 (100.0)

(3) 教育実習の実施時期

質問文：

教育実習の実施時期はいつ頃ですか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(3)① 教育実習の実施時期 幼稚園

実施時期	回答数と割合 (n=99)		実施時期	回答数と割合 (n=99)	
1年生・4～6月	6	6.1%	2年生・4～6月	27	27.3%
1年生・7～9月	10	10.1%	2年生・7～9月	18	18.2%
1年生・10～12月	17	17.2%	2年生・10～12月	15	15.2%
1年生・1～3月	6	6.1%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	99	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(3)② 教育実習の実施時期 小学校

実施時期	回答数と割合 (n=4)		実施時期	回答数と割合 (n=4)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	3	75.0%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	0	0.0%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	1	25.0%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	4	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(3)③ 教育実習の実施時期 中学校

実施時期	回答数と割合 (n=8)		実施時期	回答数と割合 (n=8)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	3	37.5%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	2	25.0%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	2	25.0%
1年生・1～3月	1	12.5%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	8	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(3)④ 教育実習の実施時期 養護教諭

実施時期	回答数と割合 (n=7)		実施時期	回答数と割合 (n=7)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	4	57.1%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	2	28.6%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	1	14.3%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	7	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(3)⑤ 教育実習の実施時期 栄養教諭

実施時期	回答数と割合 (n=13)		実施時期	回答数と割合 (n=13)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	0	0.0%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	8	61.5%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	5	38.5%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	13	100.0%

(複数回答あり)

(4) 実習と大学の授業の重なり

質問文:

教育実習の実施時期は、大学の授業期間と重なっていますか。

図表【1】(4) 実習と授業の重なる時期

実施時期	回答数と割合 (n=104)		実施時期	回答数と割合 (n=104)	
4月	2	1.9%	11月	12	11.5%
5月	16	15.4%	12月	4	3.9%
6月	24	23.1%	1月	1	1.0%
7月	5	4.8%	2月	1	1.0%
8月	0	0.0%	3月	0	0.0%
9月	6	5.8%	授業と重ならない	16	15.4%
10月	17	16.4%	計	104	100.0%

(複数回答あり)

(5) 実習校の種類

質問文：

実習校にはどのような種類がありますか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(5)① 実習校の種類 幼稚園

実習校の種類	回答数とその割合 (n=182)	
附属学校園	37	20.3%
教育委員会との協力による公立校園	20	11.0%
教育委員会との協力による私立校園	5	2.8%
大学との協力による公立校園	26	14.3%
大学との協力による私立校園	39	21.4%
大学教員との個人的な協力による公立校園	4	2.2%
大学教員との個人的な協力による私立校園	6	3.3%
学生の出身校園	36	19.8%
その他	9	5.0%
計	182	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(5)② 実習校の種類 小学校

実習校の種類	回答数とその割合 (n=10)	
附属学校園	0	0.0%
教育委員会との協力による公立校園	5	50.0%
教育委員会との協力による私立校園	1	10.0%
大学との協力による公立校園	1	10.0%
大学との協力による私立校園	0	0.0%
大学教員との個人的な協力による公立校園	0	0.0%
大学教員との個人的な協力による私立校園	0	0.0%
学生の出身校園	3	30.0%
その他	0	0.0%
計	10	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(5)③ 実習校の種類 中学校

実習校の種類	回答数とその割合 (n=13)	
附属学校園	2	15.4%
教育委員会との協力による公立校園	3	23.1%
教育委員会との協力による私立校園	0	0.0%
大学との協力による公立校園	1	7.7%
大学との協力による私立校園	1	7.7%
大学教員との個人的な協力による公立校園	2	15.4%
大学教員との個人的な協力による私立校園	1	7.7%
学生の出身校園	3	23.1%
その他	0	0.0%
計	13	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(5)④ 実習校の種類 養護教諭

実習校の種類	回答数とその割合 (n=15)	
附属学校園	1	6.7%
教育委員会との協力による公立校園	4	26.7%
教育委員会との協力による私立校園	1	6.7%
大学との協力による公立校園	2	13.3%
大学との協力による私立校園	1	6.7%
大学教員との個人的な協力による公立校園	1	6.7%
大学教員との個人的な協力による私立校園	0	0.0%
学生の出身校園	4	26.7%
その他	1	6.7%
計	15	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(5)⑤ 実習校の種類 栄養教諭

実習校の種類	回答数とその割合 (n=23)	
附属学校園	1	4.4%
教育委員会との協力による公立校園	8	34.8%
教育委員会との協力による私立校園	2	8.7%
大学との協力による公立校園	4	17.4%
大学との協力による私立校園	1	4.4%
大学教員との個人的な協力による公立校園	1	4.4%
大学教員との個人的な協力による私立校園	0	0.0%
学生の出身校園	6	26.1%
その他	0	0.0%
計	23	100.0%

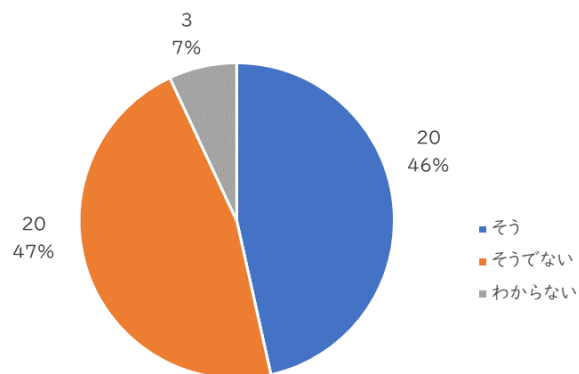
(複数回答あり)

(6) 学校体験活動の実施

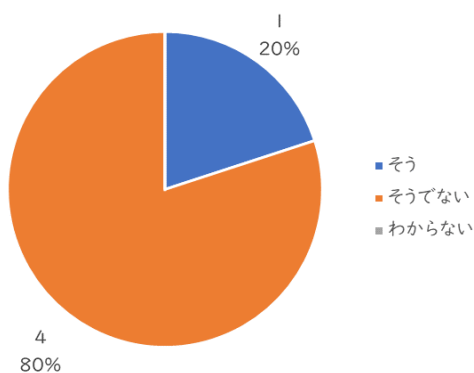
質問文：

学校体験活動を教育実習に含めていないし単位化もしていないが実施している

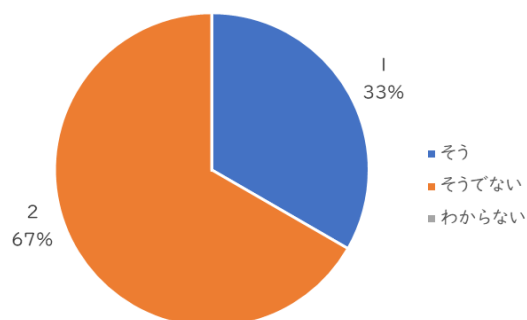
[選択肢] そう ・ そうでない ・ わからない



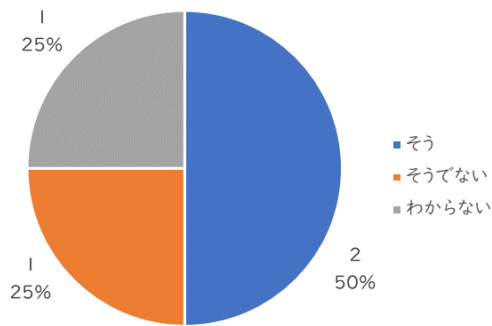
図表【1】(6)① 学校体験活動の実施 幼稚園



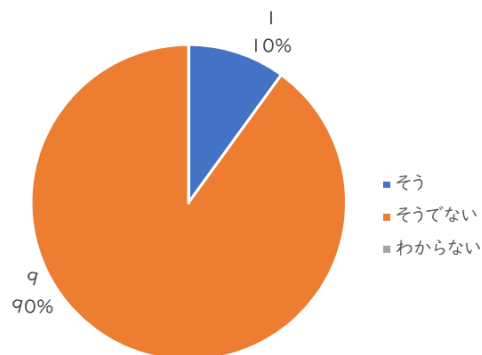
図表【1】(6)② 学校体験活動の実施 小学校



図表【1】(6)③ 学校体験活動の実施 中学校



図表【1】(6)④ 学校体験活動の実施 養護教諭



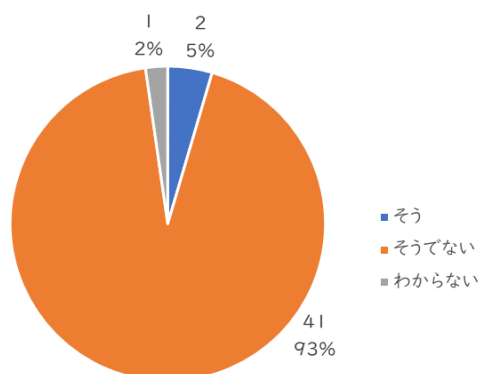
図表【1】(6)⑤ 学校体験活動の実施 栄養教諭

(7) 学校体験活動の教育実習への位置づけ

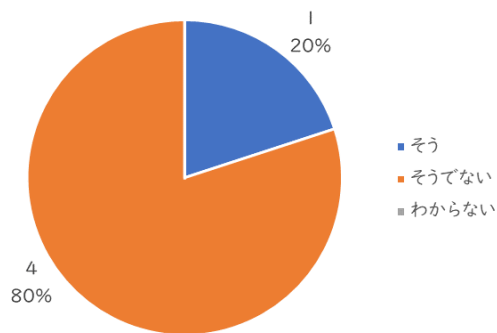
質問文：

教育課程上、学校体験活動を教育実習に含めることができることを定めている。

[選択肢] そう ・ そうでない ・ わからない



図表【1】(7)① 学校体験活動の教育実習としての位置づけ 幼稚園



図表【1】(7)② 学校体験活動の教育実習としての位置づけ 小学校

中学校, 養護教諭および栄養教諭の教育実習に学校体験活動を位置づけた回答はありませんでした。

(8) 教育実習における学校体験活動の日数

質問文:

(教育課程上, 学校体験活動を教育実習に含めることができることを定めている場合)
教育実習に含める学校体験活動は何日と定めていますか。

図表【1】(8)① 教育実習における学校体験活動の日数 幼稚園

日数など	回答数と割合 (n=3)	
16時間(2日)	1	33.3%
5日	1	33.3%
定めていない	1	33.3%
計	3	100.0%

図表【1】(8)② 教育実習における学校体験活動の日数 小学校

	回答数と割合 (n=1)	
16時間(2日)	1	100.0%
計	1	100.0%

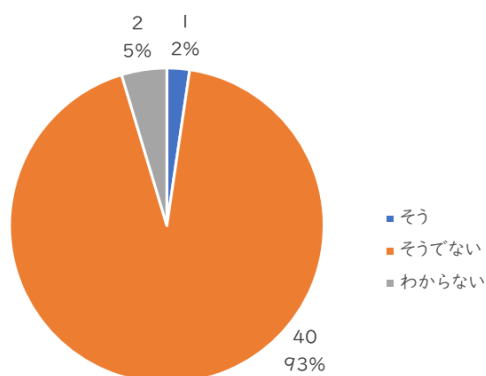
中学校, 養護教諭, 栄養教諭の教育実習における学校体験活動の日数について回答はありませんでした。

(9) 令和4年度の学校体験活動の実績

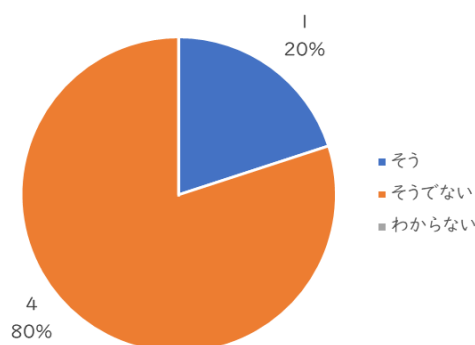
質問文：

令和4年度の実績として、学校体験活動を教育実習に含めて実施した。

[選択肢] そう・そうでない・わからない



図表【1】(9)① 令和4年度の実績 幼稚園



図表【1】(9)② 令和4年度の実績 小学校

令和4年度の中学校、養護教諭、栄養教諭の教育実習において、学校体験活動を教育実習に含めて実施した回答はありませんでした。

(10) 令和4年度の学校体験活動の日数

質問文：

(令和4年度の実績として、学校体験活動を教育実習に含めて実施した場合)

令和4年度実績において、教育実習に含めた学校体験活動は何日でしたか。

図表【1】(10) 令和4年度の学校体験活動の日数 幼稚園

日数など	回答数と割合 (n=2)	
3日	1	50.0%
5日	1	50.0%
計	2	100.0%

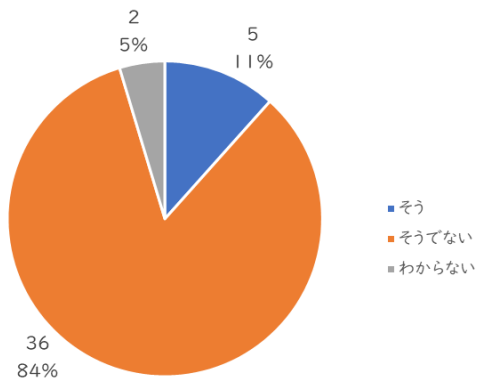
令和4年度の小学校, 中学校, 養護教諭および栄養教諭の教育実習における学校体験活動の日数について回答はありませんでした。

(11) 学校体験活動の単位化

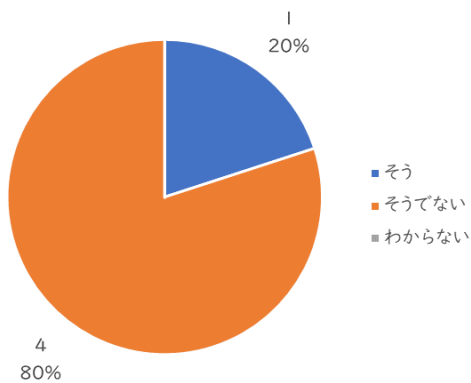
質問文:

学校体験活動を教育実習に含めていないが, 単位化して実施している

[選択肢] そう・そうでない・わからない



図表【1】(11)① 学校体験活動の単位化 幼稚園



図表【1】(11)② 学校体験活動の単位化 小学校

中学校, 養護教諭および栄養教諭において, 学校体験活動を実施している回答はありませんでした。

(12) 学校体験活動の単位数と実施時期

質問文:

(学校体験活動を教育実習に含めていないが、単位化して実施している場合)

単位数と実施時期を記入してください。

図表【1】(12)① 学校体験活動の単位数と実施時期 幼稚園

単位数	回答数と割合 (n=7)		実施時期	回答数と割合 (n=6)	
1	3	42.9%	1回生前期	2	33.3%
2	1	14.3%	1回生後期	1	16.7%
4	1	14.3%	1回生通年	0	0.0%
5	1	14.3%	2回生前期	1	16.7%
その他	1	14.3%	2回生後期	1	16.7%
計	7	100.0%	2回生通年	0	0.0%
			その他	1	16.7%
			計	6	100.0%

図表【1】(12)② 学校体験活動の単位数と実施時期 小学校

単位数	回答数と割合 (n=2)		実施時期	回答数と割合 (n=2)	
1	1	50.0%	1回生前期	1	50.0%
4	1	50.0%	1回生後期	0	0.0%
計	2	100.0%	1回生通年	0	0.0%
			2回生前期	1	50.0%
			2回生後期	0	0.0%
			2回生通年	0	0.0%
			計	2	100.0%

中学校、養護教諭および栄養教諭において、学校体験活動の単位数と実施時期についての回答はありませんでした。

(13) 事前指導の実施時期

質問文:

大学で教育実習の事前指導をいつ実施していますか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(13)① 事前指導の実施時期 幼稚園

実施時期	回答数と割合 (n=163)		実施時期	回答数と割合 (n=163)	
1年生・4～6月	22	13.5%	2年生・4～6月	40	24.5%
1年生・7～9月	27	16.6%	2年生・7～9月	20	12.3%
1年生・10～12月	26	16.0%	2年生・10～12月	9	5.5%
1年生・1～3月	18	11.0%	2年生・1～3月	1	0.6%
			計	163	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(13)② 事前指導の実施時期 小学校

実施時期	回答数と割合 (n=14)		実施時期	回答数と割合 (n=14)	
1年生・4～6月	1	7.1%	2年生・4～6月	3	21.4%
1年生・7～9月	1	7.1%	2年生・7～9月	1	7.1%
1年生・10～12月	4	28.6%	2年生・10～12月	0	0.0%
1年生・1～3月	4	28.6%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	14	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(13)③ 事前指導の実施時期 中学校

実施時期	回答数と割合 (n=10)		実施時期	回答数と割合 (n=10)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	4	40.0%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	3	30.0%
1年生・10～12月	1	10.0%	2年生・10～12月	0	0.0%
1年生・1～3月	2	20.0%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	10	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(13)④ 事前指導の実施時期 養護教諭

実施時期	回答数と割合 (n=9)		実施時期	回答数と割合 (n=9)	
1年生・4～6月	2	22.2%	2年生・4～6月	2	22.2%
1年生・7～9月	1	11.1%	2年生・7～9月	0	0.0%
1年生・10～12月	2	22.2%	2年生・10～12月	0	0.0%
1年生・1～3月	2	22.2%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	9	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(13)⑤ 事前指導の実施時期 栄養教諭

実施時期	回答数と割合 (n=22)		実施時期	回答数と割合 (n=22)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	9	40.9%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	8	36.4%
1年生・10～12月	1	4.6%	2年生・10～12月	3	13.6%
1年生・1～3月	1	4.6%	2年生・1～3月	0	0.0%
			計	22	100.0%

(複数回答あり)

(14) 事前指導の実施回数

質問文:

大学で教育実習の事前指導をどれくらい実施していますか。1回=90分間と換算してください。

図表【1】(14) 事前指導の実施回数

実習種別		未実施	1回未満	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回以上	計
幼稚園	回答数	0	0	0	0	1	0	0	2	1	43	47
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	4.3%	2.1%	91.5%	100.0%
小学校	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	5
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	100.0%
中学校	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
養護教諭	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
栄養教諭	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

(15) 事前指導の内容

質問文:

大学での事前指導の内容について当てはまるものすべてを選択してください。

上記以外にありましたら記入してください。

図表【1】(15) 事前指導の内容

内容	回答数と割合 (n=47)	
教育実習の意義や目的	47	100.0%
教育実習の目標や評価	47	100.0%
服装や髪型、身に付ける物	47	100.0%
欠席や早退、遅刻の連絡、実習時間の管理の方法	47	100.0%
学習指導案の書き方	47	100.0%
実習生の心得、マナー、言葉づかい	46	97.9%
提出物などの提出メ次の遵守	46	97.9%
幼児・児童・生徒への関わり方やコミュニケーションのとり方	45	95.7%
学校の教育活動に参画する意識や意欲づけ	44	93.6%
幼児・児童・生徒の観察や実態把握	44	93.6%
個人情報の取扱い	43	91.5%
模擬授業の実施	41	87.2%
教材研究のしかた	39	83.0%
スクールコンプライアンス、人権	38	80.9%

図表【1】(15) 事前指導の内容 つづき

内容	回答数と割合 (n=47)	
授業観察のしかた	38	80.9%
学習指導の基礎的な技術(話し方、板書、学習形態、授業展開、環境構成など)	37	78.7%
学級担任や教科担任の職務	36	76.6%
SNS活用など実習校の教職員とのコミュニケーションのとり方	32	68.1%
学校における組織や運営体制	27	57.5%
学校安全	26	55.3%
合理的配慮への対応や支援	25	53.2%
ハラスメントの相談体制	24	51.1%
学習指導におけるICT活用	22	46.8%
幼児・児童・生徒への性暴力等の防止	22	46.8%
学級経営、生活指導や生徒指導の方法	20	42.6%
働き方改革など学校の現状	15	31.9%
特別支援学級や通級指導教室の児童・生徒や教育活動の理解	14	29.8%
学校における1人1台端末の活用状況	11	23.4%

(複数回答あり)

(16) 事前指導の実施方法

質問文:

大学での事前指導はどのような方法でおこなわれていますか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(16) 事前指導の実施方法

方法	回答数と割合 (n=47)	
対面での大学教員による講義	47	100.0%
同学年の実習生同士の交流やグループワーク	44	93.6%
大学教員との1対1(もしくは少人数)の対面による面談や対話	27	57.5%
同学年の実習生と前年度の実習生(上学年生)の交流やグループワーク	19	40.4%
同学年の実習生と翌年度の実習生(下学年生)の交流やグループワーク	13	27.7%
事前指導の一部を実習校に依頼して、対面の講義を実施している	12	25.5%
オンラインやオンデマンドによる大学教員の講義	9	19.2%
大学がおこなっているほかに、実習校が独自に事前指導を主催している	9	19.2%
大学教員との1対1(もしくは少人数)のオンラインによる面談や対話	6	12.8%
大学がおこなっているほかに、教育委員会が独自に事前指導を主催している	4	8.5%
事前指導の一部を教育委員会に依頼して、対面の講義を実施している	3	6.4%
同学年の異なる実習校種や免許種の実習生との交流やグループワーク	2	4.3%
事前指導の一部を実習校に依頼して、オンラインやオンデマンドで講義を実施している	1	2.1%
事前指導の一部を教育委員会に依頼して、オンラインやオンデマンドで講義を実施している	0	0.0%

(複数回答あり)

(17) 事後指導の実施時期

質問文:

大学で教育実習の事後指導をいつ実施していますか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(17)① 事後指導の実施時期 幼稚園

実施時期	回答数と割合 (n=109)		実施時期	回答数と割合 (n=109)	
1年生・4～6月	2	1.8%	2年生・4～6月	10	9.2%
1年生・7～9月	6	5.5%	2年生・7～9月	22	20.2%
1年生・10～12月	20	18.4%	2年生・10～12月	28	25.7%
1年生・1～3月	14	12.8%	2年生・1～3月	7	6.4%
			計	109	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(17)② 事後指導の実施時期 小学校

実施時期	回答数と割合 (n=6)		実施時期	回答数と割合 (n=6)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	1	16.7%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	3	50.0%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	1	16.7%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	1	16.7%
			計	6	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(17)③ 事後指導の実施時期 中学校

実施時期	回答数と割合 (n=5)		実施時期	回答数と割合 (n=5)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	0	0.0%
1年生・7～9月	1	20.0%	2年生・7～9月	1	20.0%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	2	40.0%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	1	20.0%
			計	5	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(17)④ 事後指導の実施時期 養護教諭

実施時期	回答数と割合 (n=8)		実施時期	回答数と割合 (n=8)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	1	12.5%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	1	12.5%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	3	37.5%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	3	37.5%
			計	8	100.0%

(複数回答あり)

図表【1】(17)⑤ 事後指導の実施時期 栄養教諭

実施時期	回答数と割合 (n=15)		実施時期	回答数と割合 (n=15)	
1年生・4～6月	0	0.0%	2年生・4～6月	0	0.0%
1年生・7～9月	0	0.0%	2年生・7～9月	3	20.0%
1年生・10～12月	0	0.0%	2年生・10～12月	8	53.3%
1年生・1～3月	0	0.0%	2年生・1～3月	4	26.7%
			計	15	100.0%

(複数回答あり)

(18) 事後指導の実施回数

質問文:

大学で教育実習の事後指導をどれくらい実施していますか。1回=90分間と換算してください。

図表【1】(18) 事後指導の実施回数

実習種別		未実施	1回未満	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回以上	計
幼稚園	回答数	0	0	1	9	7	4	6	4	3	13	47
	%	0.0%	0.0%	2.1%	19.2%	14.9%	8.5%	12.8%	8.5%	6.4%	27.7%	100.0%
小学校	回答数	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	5
	%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%
中学校	回答数	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
	%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
養護教諭	回答数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
栄養教諭	回答数	0	0	3	2	2	1	0	0	0	2	10
	%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%

(19) 事後指導の内容

質問文:

大学での事後指導の内容について当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(19) 事後指導の内容

事後指導の内容	回答数と割合 (n=47)	
教育実習の目標や評価	39	83.0%
免許取得までの学修課題	35	74.5%
幼児・児童・生徒への関わり方やコミュニケーションのとり方	35	74.5%
学習指導案の書き方	34	72.3%
教育実習の意義や目的	33	70.2%
提出物などの提出メ切的遵守	33	70.2%
実習生の心得、マナー、言葉づかい	30	63.8%

図表【1】(19) 事後指導の内容 つづき

事後指導の内容	回答数と割合 (n=47)	
教材研究のしかた	30	63.8%
幼児・児童・生徒の観察や実態把握	29	61.7%
学習指導の基礎的な技術(話し方、板書、学習形態、授業展開、環境構成など)	27	57.5%
学校の教育活動に参画する意識や意欲づけ	25	53.2%
学級担任や教科担任の職務	25	53.2%
欠席や早退、遅刻の連絡、実習時間の管理の方法	24	51.1%
個人情報の取扱い	24	51.1%
服装や髪型、身に付ける物	21	44.7%
授業観察のしかた	21	44.7%
スクールコンプライアンス、人権	18	38.3%
合理的配慮への対応や支援	18	38.3%
学校安全	17	36.2%
学校における組織や運営体制	16	34.0%
学級経営、生活指導や生徒指導の方法	16	34.0%
ハラスメントの相談体制	14	29.8%
模擬授業の実施	13	27.7%
SNS活用など実習校の教職員とのコミュニケーションのとり方	11	23.4%
学習指導におけるICT活用	11	23.4%
特別支援学級や通級指導教室の児童・生徒や教育活動の理解	11	23.4%
働き方改革など学校の現状	10	21.3%
幼児・児童・生徒への性暴力等の防止	9	19.2%
学校における1人1台端末の活用状況	7	14.9%

(複数回答あり)

(20) 事後指導の実施方法

質問文:

大学での事後指導はどのような方法でおこなっていますか。当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(20) 事後指導の実施方法

方法	回答数と割合 (n=110)	
対面での大学教員による講義	98	89.1%
同学年の実習生同士の交流やグループワーク	97	88.2%
同学年の実習生と翌年度の実習生(下学年生)の交流やグループワーク	45	40.9%
大学教員との1対1(もしくは少人数)の対面による面談や対話	43	39.1%

図表【1】(20) 事後指導の実施方法 つづき

方法	回答数と割合 (n=110)	
同学年の異なる実習校種や免許種の実習生との交流やグループワーク	36	32.7%
同学年の実習生と前年度の実習生(上学年生)の交流やグループワーク	28	25.5%
オンラインやオンデマンドによる大学教員の講義	18	16.4%
事後指導の一部を教育委員会に依頼して、対面の講義を実施している	11	10.0%
大学教員との1対1(もしくは少人数)のオンラインによる面談や対話	10	9.1%
事後指導の一部を実習校に依頼して、対面の講義を実施している	8	7.3%
大学がおこなっているほかに、実習校が独自に事後指導を主催している	5	4.6%
事後指導の一部を教育委員会に依頼して、オンラインやオンデマンドで講義を実施している	1	0.9%
大学がおこなっているほかに、教育委員会が独自に事後指導を主催している	1	0.9%
事後指導の一部を実習校に依頼して、オンラインやオンデマンドで講義を実施している	0	0.0%

(複数回答あり)

(21) 教育実習の目標の設定

質問文:

実習の目標をどのように設定していますか。

図表【1】(21) 教育実習の目標の設定

教育実習の目標の設定	回答数と割合 (n=47)	
大学が実習の目標を設定し、実習校に周知している	44	93.6%
実習の目標はディプロマポリシーに基づいている	39	83.0%
大学が実習の目標を設定し、教育委員会に周知している	10	21.3%
実習の目標は近隣自治体の教員育成指標を参考にしている	7	14.9%
大学と実習校が協議して実習の目標を設定している	4	8.5%
大学と教育委員会が協議して実習の目標を設定している	1	2.1%
大学では実習の目標は設定していない	0	0.0%

(複数回答あり)

(22) 教育実習の活動内容の設定

質問文:

実習の活動内容をどのように設定していますか。

図表【1】(22) 教育実習の活動内容の設定

教育実習の活動内容の設定	回答数と割合 (n=47)	
実習の活動内容と目標を対応づけて実習生に提示している	43	91.5%
大学が活動内容を設定し、実習校に周知している	38	80.9%
実習の活動内容と目標を対応づけて実習校に提示している	37	78.7%
大学と実習校が協議して活動内容を設定している	19	40.4%
大学が活動内容を設定し、教育委員会に周知している	7	14.9%
大学では活動内容の目安や計画等は設定していない	3	6.4%
実習の活動内容と目標を対応づけて教育委員会に提示している	3	6.4%
大学と教育委員会が協議して活動内容を設定している	1	2.1%

(複数回答あり)

(23) 評価表の作成

質問文:
教育実習の評価表の様式はどこが作成していますか。

図表【1】(23) 教育実習の評価表の作成

教育実習の評価表の作成	回答数と割合 (n=47)	
大学	44	93.6%
教育委員会	5	10.6%
大学と実習校が協議して作成	3	6.4%
実習校	0	0.0%
大学と教育委員会が協議して作成	0	0.0%
大学と教育委員会と実習校が協議して作成	0	0.0%

(複数回答あり)

(24) 評価方法

質問文:
教育実習をどのように評価していますか。

図表【1】(24) 教育実習の評価方法

教育実習の評価方法	回答数と割合 (n=47)	
大学では、実習校の評価を参考にして評価を付けている	44	93.6%
実習ノートや実習日誌、レポート等の書きぶりを根拠にしている	41	87.2%
実習校の指導教員が実習生の行動観察をしてそれを根拠にしている	29	61.7%

図表【1】(24) 教育実習の評価方法 つづき

教育実習の評価方法	回答数と割合 (n=47)	
実習校の評価は実習指導教員が評価している	24	51.1%
実習校の評価は実習校で協議して評価している	23	48.9%
研究授業のでき具合を根拠にしている	15	31.9%
ループリックを設定して評価をしている	15	31.9%
実習校の評価は管理職が評価している	14	29.8%
大学では、実習校の評価を大学の評価にしている	8	17.0%
実習生の意見を評価に反映させている	4	8.5%
実習校の管理職と大学の指導教員が評価について協議している	3	6.4%
実習校の管理職、指導教員、大学の指導教員が評価について協議している	3	6.4%
他の実習生の様子を参考にして相対評価をしている	2	4.3%
過去の実習指導の経験を参考にして相対評価をしている	2	4.3%
実習校の指導教員と大学の指導教員が評価について協議している	1	2.1%
根拠にするものは定めていない	1	2.1%
教育委員会が評価に関与している	0	0.0%

(複数回答あり)

(25) 教育実習の活動内容

質問文:

教育実習において、実習生はどのような活動をしていますか。学校体験活動を教育実習に位置付けて実施している場合は学校体験活動は除いて回答してください。学校体験活動については次にお尋ねします。

図表【1】(25) 実習の活動内容

教育実習の実習活動	回答数と割合 (n=47)	
幼児・児童・生徒の観察および記録	47	100.0%
授業の実践	47	100.0%
実習活動の省察・ふりかえり	47	100.0%
実習日誌や実習ノートなどの記録作成	47	100.0%
幼児・児童・生徒との関わりと実態把握	46	97.9%
授業の観察および記録	45	95.7%
教材研究	45	95.7%
授業以外の教育活動の観察・記録	44	93.6%
実習指導教員の実施する授業の補助・支援	41	87.2%
授業づくり(授業の構想、学習指導案の作成を含む)	41	87.2%
実習指導教員の実施する授業以外の校務の補助・支援	36	76.6%

図表【1】(25) 実習の活動内容 つづき

教育実習の実習活動	回答数と割合 (n=47)	
実習指導教員との研究協議	34	72.3%
実習校全体の校務の補助・支援	33	70.2%
大学の指導教員との研究協議	28	59.6%
特別支援学級や通級指導教室の児童・生徒との関わり	15	31.9%
特別支援学級や通級指導教室の教員の補助・支援	9	19.2%
部活動の補助・支援	7	14.9%

(複数回答あり)

(26) 教育実習に位置付いた学校体験活動の活動内容

質問文:

貴学が学校体験活動を教育実習に位置付けて実施している場合、学校体験活動ではどのような活動をしていますか。当てはまるものすべてを選んでください。

図表【1】(26) 教育実習に位置付いた学校体験活動の活動内容

教育実習に位置付いた学校体験活動の内容	回答数と割合 (n=47)	
幼児・児童・生徒の観察および記録	8	17.0%
幼児・児童・生徒との関わりと実態把握	5	10.6%
授業の観察および記録	5	10.6%
実習活動の省察・ふりかえり	5	10.6%
実習日誌や実習ノートなどの記録作成	5	10.6%
授業以外の教育活動の観察・記録	3	6.4%
実習指導教員の実施する授業の補助・支援	2	4.3%
実習指導教員の授業以外の校務の補助・支援	2	4.3%
実習校全体の校務の補助・支援	2	4.3%
特別支援学級や通級指導教室の児童・生徒との関わり	2	4.3%
特別支援学級や通級指導教室の教員の補助・支援	2	4.3%
教材研究	2	4.3%
実習校が休業日におこなう活動の補助・支援	1	2.1%
授業づくり(授業の構想、学習指導案の作成を含む)	1	2.1%
授業の実践	1	2.1%
実習指導教員との研究協議	1	2.1%
大学の指導教員との研究協議	1	2.1%
部活動の補助・支援	0	0.0%

(複数回答あり)

(27) 実習生の退勤時刻の管理

質問文:

実習期間中の実習生の退勤時刻をどのように管理していますか。

図表【1】(27) 実習生の退勤時刻の管理

実習生の退勤時刻の管理	回答数と割合 (n=47)	
大学は実習終了後、退勤時刻が目安等通りだったかを確認している	33	70.2%
実習生は自分の退勤時刻を記録している	28	59.6%
大学が実習生に退勤時刻の目安等について指導している	23	48.9%
実習校は実習生の退勤時刻を記録している	22	46.8%
実習終了後、大学の指導教員と実習生は、退勤時刻が目安等通りだったか協議している	16	34.0%
大学が退勤時刻目安等を設定して、実習校に周知している	15	31.9%
大学は実習期間中、退勤時刻が目安等通りか確認している	15	31.9%
大学と実習校が退勤時刻の目安等について協議し、設定している	11	23.4%
大学の教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)において、実習生全体の退勤時刻について協議している	9	19.2%
実習終了後、大学と実習校は、退勤時刻が目安等通りだったか協議している	4	8.5%
大学が退勤時刻の目安等を設定して、教育委員会に周知している	1	2.1%
大学と教育委員会が退勤時刻の目安等について協議し、設定している	1	2.1%
実習終了後、大学と教育委員会は、退勤時刻が目安等通りだったか協議している	1	2.1%

(複数回答あり)

(28) 実習経費の支払い

質問文:

実習校に実習経費(実習費、謝金、報償費などの名目)を支払っていますか。実習経費とは、実習にかかる実費(給食費、コピー代、資料代等)以外を指します。当てはまるものをすべて選んでください。

図表【1】(28) 実習経費の支払い

実習経費の支払い	回答数と割合 (n=47)	
出身校以外の私立の実習校から求めがあった場合、大学が実習経費を支払っている	20	42.6%
出身校以外の公立の実習校から求めがあった場合、大学が実習経費を支払っている	17	36.2%
出身校以外の私立の実習校から求めがあった場合、実習生が実習経費を支払っている	12	25.5%
実習生の出身校である実習校から求めがあった場合、実習生が実習経費を支払っている	10	21.3%
出身校以外の公立の実習校から求めがあった場合、実習生が実習経費を支払っている	7	14.9%
大学から教育委員会や実習校に実習経費を請求しないよう依頼している	3	6.4%
大学と教育委員会の間で、実習経費の請求と支払をおこなわない旨合意している	3	6.4%
大学は実習経費を支払わないと教育委員会や実習校に周知している	2	4.3%

(複数回答あり)

(29) 実習生の負担感の把握

質問文:

実習の負担感の把握について当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(29) 実習の負担感の把握

実習の負担感の把握	回答数と割合 (n=47)	
実習終了後に指導教員が実習生に様子を聞くなどして負担感について把握している	45	95.7%
実習中に指導教員が実習生に様子を聞くなどして負担感について把握している	44	93.6%
実習終了後に実習生にアンケート調査などして負担感について把握している	26	55.3%
カウンセリング等や学生相談に来る実習生の実態から把握している	23	48.9%
実習生の負担感について特に把握していない	5	10.6%
実習終了後に実習生にメンタルヘルスのセルフチェック等を実施している	2	4.3%

(複数回答あり)

(30) 大学の指導教員の役割

質問文:

大学の指導教員の役割について当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(30) 大学の指導教員の役割

大学の指導教員の役割	回答数と割合 (n=47)	
実習中、実習校を訪問して実習生の授業等を参観する	46	97.9%
実習校からの困り事やトラブル等の連絡や相談に対応する	46	97.9%
実習生からの困り事やトラブル等の連絡や相談に対応する	46	97.9%
実習生に事前指導や事前面談をおこなう	45	95.7%
すべての実習生に指導教員が設定されている	43	91.5%
実習生に事後指導や事後面談をおこなう	43	91.5%
実習中、実習生と連絡を取り、実習の様子を確認する	42	89.4%
実習の評価をつける	41	87.2%
実習校と実習の評価について協議する	12	25.5%
実習開始前に実習校を訪問して打ち合わせをおこなう	7	14.9%
実習開始前に実習校を訪問して、実習の内容を説明する	5	10.6%
実習開始前に実習校を訪問して、実習の目標を説明する	4	8.5%
実習開始前に実習校を訪問して、実習の評価方法を説明する	4	8.5%
実習終了後に実習校を訪問して実習のふりかえりをおこなう	3	6.4%

(複数回答あり)

(31) 合理的配慮や支援を必要とする学生への対応

質問文：

教育実習における合理的配慮や支援を必要とする学生への対応について回答してください。

図表【1】(31) 合理的配慮や支援を必要とする学生への対応

合理的配慮や支援を必要とする学生への対応	回答数と割合 (n=47)	
実習指導教員が実習校と合理的配慮や支援の内容を調整、協議している	37	78.7%
教育実習実施担当組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が対応している	27	57.5%
学生が教育実習における合理的配慮や支援を相談や申請する窓口を設定している	24	51.1%
障害学生の修学支援をする組織と連携して対応している	23	48.9%
実習終了後、大学の担当組織で合理的配慮や支援についてふりかえりをしている	22	46.8%
合理的配慮や支援の検討や調整、提供する流れや手順を定めている	21	44.7%
教育実習の実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が実習校と合理的配慮や支援の内容を調整、協議している	14	29.8%
実習終了後のふりかえりには当該実習生が参加している	13	27.7%
実習終了後、大学と実習校とで合理的配慮や支援についてふりかえりをしている	11	23.4%
障害学生支援の担当部署(者)が実習校と合理的配慮や支援の内容を調整、協議している	10	21.3%
合理的配慮や支援を必要とする実習生の実習を評価する方針や方法を定めている	5	10.6%
障害学生の教育実習を支援する組織があり、そこが対応している	4	8.5%
合理的配慮や支援を必要とする実習生の実習での活動内容を定めている	2	4.3%

(複数回答あり)

(32) 実習記録の形態

質問文：

実習日誌や実習ノートなどの記録はどのような形態ですか。当てはまるもの選択してください。

図表【1】(32) 実習記録の形態

実習の記録の形態	回答数と割合 (n=47)	
紙媒体の日誌やノート等に手書きで記入する	47	100.0%
試行はしていないが、電子版への移行には興味・関心を持っている	25	53.2%
自分のノートパソコンを持っていない学生がいるため、電子版への移行は困難である	25	53.2%
将来的には条件や環境が整備されて電子版に移行していくと考えている	24	51.1%
紙媒体が基本だが、ワード利用などへの移行を検討している	20	42.6%
電子版に移行したいが、教育委員会や実習校によってシステムやソフトが異なり対応が困難である	11	23.4%
ワードなどを利用して電子版の日誌やノート等に入力し、実習校には印刷して提出している	7	14.9%
システムやネットワークの安全性の点から、電子版への移行は積極的に検討していない	7	14.9%

図表【1】(32) 実習記録の形態 つづき

実習の記録の形態	回答数と割合 (n=47)	
電子版にする必要性やメリットをとくに感じていない	6	12.8%
ワードなどを利用して電子版の日誌やノート等に入力し、実習校にはデータを提出している	2	4.3%
紙媒体が基本だが、LMS利用などへの移行を検討している	2	4.3%
LMS(学習管理システム)を利用して電子版の日誌やノートに入力し、実習校の指導教員とシステム上でデータを共有している	0	0.0%

(複数回答あり)

(33) 教育実習におけるICT活用

質問文:

教育実習におけるICT活用について当てはまるものすべてを選択してください。

図表【1】(33) 教育実習におけるICT活用

教育実習におけるICT活用	回答数と割合 (n=47)	
教科指導等におけるICT活用を実習前に指導している	27	57.5%
実習生は実習校ではパソコン等は使用していない	22	46.8%
実習生は実習校が用意したパソコン等を使用している	9	19.2%
デジタル教科書の操作方法を実習前に指導している	6	12.8%
実習生は実習校に自分のノートパソコンを持参して使用している	6	12.8%
学生は実習校で導入されている端末やOSを実習前に操作して練習している	6	12.8%
大学は実習校が使用している端末やOSを把握している	5	10.6%
デジタル教科書を活用した授業づくりを実習前に指導している	4	8.5%

(複数回答あり)

(34) 働き方改革を受けて教育実習のあり方の変化

質問文:

学校における働き方改革を受けて、教育実習のあり方をどのように変えていますか。当てはまるものをすべて選択してください。

図表【1】(34) 働き方改革を受けての教育実習のあり方の変化

働き方改革を受けての教育実習のあり方の変化	回答数と割合 (n=47)	
実習校が実習生の退勤時刻を設定した	30	63.8%
大学が実習日誌や実習ノートの点検を軽減した	13	27.7%
実習校が実習日誌や実習ノートの点検を軽減した	7	14.9%

図表【1】(34) 働き方改革を受けての教育実習のあり方の変化 つづき

働き方改革を受けての教育実習のあり方の変化	回答数と割合 (n=47)	
大学が実習生の退勤時刻を設定した	6	12.8%
実習校が実習生の退勤時刻を早めた	6	12.8%
大学が実習生のおこなう授業回数を減らした	4	8.5%
実習校が実習生のおこなう授業回数を減らした	4	8.5%
教育委員会が実習日誌や実習ノートの点検を軽減した	2	4.3%
実習校が実習生のおこなう授業回数を増やした	2	4.3%
実習校が実習にかかる校内の会議を減らした	2	4.3%
大学が大学指導教員と実習校との協議を減らした	1	2.1%
教育委員会が実習生のおこなう授業回数を減らした	1	2.1%
教育委員会が実習校に実習指導の負担軽減を指導した	1	2.1%
大学が実習生のおこなう授業回数を増やした	0	0.0%
大学が実習生の退勤時刻を早めた	0	0.0%
教育委員会が実習生の退勤時刻を設定した	0	0.0%
教育委員会が実習生のおこなう授業回数を増やした	0	0.0%
教育委員会が実習生の退勤時刻を早めた	0	0.0%
教育委員会が実習にかかる大学との協議を減らした	0	0.0%
実習校が大学の指導教員との協議を減らした	0	0.0%

(複数回答あり)

(35) 実習校での実習指導のありかた

質問文:

実習校ではどのように実習指導をおこなっていますか。

図表【1】(35) 実習校での実習指導のありかた

実習校での実習指導のありかた	回答数と割合 (n=47)	
実習指導教員は勤務時間内に実習生と対面で指導している	41	87.2%
勤務時間内に実習指導教員は実習日誌や実習ノート等の提出物を点検している	29	61.7%
管理職は必要に応じて実習生を指導している	25	53.2%
主幹や主任は必要に応じて実習生を指導している	22	46.8%
勤務時間外に実習指導教員は実習日誌や実習ノート等の提出物を点検している	16	34.0%
力量のある教員が実習指導を担当している	15	31.9%
実習指導教員は勤務時間外にメールなどで指導している	12	25.5%
教職年数の多い教員が実習指導を担当している	12	25.5%

図表【1】(35) 実習校での実習指導のありかた つづき

実習校での実習指導のありかた	回答数と割合 (n=47)	
実習指導教員は勤務時間内にメールなどで指導している	11	23.4%
実習指導教員は勤務時間外に実習生と対面で指導している	11	23.4%
若手教員が実習指導を担当している	10	21.3%
実習指導教員を中心に、同学年の教諭がチーム体制で実習指導をしている	8	17.0%
実習指導教員を中心に、同教科の教諭がチーム体制で実習指導をしている	8	17.0%
学級や幼児・児童・生徒に直接関わらない内容については管理職が実習生を指導している	5	10.6%
主幹や主任は毎日実習生を指導している	4	8.5%
管理職は毎日実習生を指導している	3	6.4%
実習期間中は実習指導がある分、実習指導教員は他の校務が軽減されている	1	2.1%
教科指導をおこなう実習指導教員と学級指導をおこなう実習指導教員が役割分担をしている	1	2.1%
実習指導教員は実習終了後に他の校務が軽減されている	0	0.0%
実習指導教員は実習終了後に勤務時間が短縮されている	0	0.0%

(複数回答あり)

(36) 実習指導教員への指導やサポート

質問文:

実習校の実習指導教員への指導やサポートはどのようにおこなわれていますか。

図表【1】(36) 実習指導教員への指導やサポート

実習指導教員への指導やサポート	回答数と割合 (n=47)	
大学が発行している実習指導の手引きを参考にしている	21	44.7%
困り事やトラブル等が生じた時に、実習校の管理職が実習指導教員に指導している	15	31.9%
困り事やトラブル等が生じた時に、実習校の学年団や教科団が実習指導教員をサポートしている	9	19.2%
実習校の管理職が実習指導教員に実習指導について指導している	7	14.9%
同学年や同教科の教諭がチーム体制で実習指導教員をサポートしている	5	10.6%
大学が実施している実習指導の教員研修を受講している	1	2.1%
教育委員会が発行している実習指導の手引きを参考にしている	0	0.0%
教育委員会が実施している実習指導の教員研修を受講している	0	0.0%

(複数回答あり)

(37) 実習受入のメリットややりがいの提供

質問文：

大学では、学校が実習を受入れることのメリットややりがいを提供していますか。

図表【1】(37) 実習受入のメリットややりがいの提供

実習受入のメリットややりがいの提供	回答数と割合 (n=47)	
実習生は実習中、実習指導教員の補助や支援をおこなっている	37	78.7%
大学の指導教員の実習校訪問時に大学での学修や若い世代の特徴などを実習校に情報提供している	34	72.3%
実習生は実習前後に学校体験活動をおこない、実習校を補助・支援している	20	42.6%
大学の指導教員の実習校訪問時に、研究や実践の動向の情報等を提供している	17	36.2%
実習生の実習活動について大学の指導教員と実習校の実習指導教員が協議し、実習指導教員にとっての学びを作っている	13	27.7%
実習生の省察に大学の指導教員と実習指導教員が加わることで、実習指導教員の省察の機会を作っている	10	21.3%
実習生は実習校にICTの活用方法について情報提供している	5	10.6%
とくにやりがいやメリットを提供していない	4	8.5%

(複数回答あり)

(38) 困り事やトラブルへの対応

質問文：

実習生の起こした困り事やトラブルにどのように対応していますか。

図表【1】(38) 困り事やトラブルへの対応

困り事やトラブルへの対応	回答数と割合 (n=47)	
大学の指導教員が主に実習生に対応している	46	97.9%
大学の指導教員が主に実習校に対応している	42	89.4%
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に実習校に対応している	22	46.8%
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に実習生に対応している	20	42.6%
大学の指導教員が主に教育委員会に対応している	11	23.4%
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に教育委員会に対応している	8	17.0%

(複数回答あり)

(39) ハラスメント対応の学生周知

質問文：

実習や介護等体験におけるハラスメントへの対応を学生に周知していますか。

図表【1】(39) ハラスメント対応の学生周知

ハラスメントへの対応についての周知	回答数と割合 (n=47)	
実習でハラスメント事案があった場合には相談するよう周知している	41	87.2%
実習でハラスメント事案があった場合どのような方法で相談できるか周知している	33	70.2%
実習でのハラスメントを相談する窓口や体制があることを周知している	27	57.5%
実習でのハラスメント事案にどのような人が相談に乗ってくれるか周知している	27	57.5%
実習でハラスメント事案があった時の相談のしやすさを周知している	27	57.5%
大学生活全般でのハラスメントを相談する窓口等に、実習でのハラスメントも相談するよう周知している	26	55.3%
人権侵害の窓口等に実習でのハラスメントを相談するよう周知している	19	40.4%
大学生活全般でのハラスメントを相談する窓口等に、介護等体験でのハラスメントも相談するよう周知している	13	27.7%
介護等体験でハラスメント事案があった場合には相談するよう周知している	13	27.7%
介護等体験でハラスメント事案があった場合どのような方法で相談できるか周知している	11	23.4%
介護等体験でのハラスメント事案にどのような人が相談に乗ってくれるか周知している	11	23.4%
人権侵害の窓口等に介護等体験でのハラスメントを相談するよう周知している	10	21.3%
介護等体験でのハラスメントを相談する窓口や体制があることを周知している	9	19.2%
介護等体験でハラスメント事案があった場合の相談のしやすさを周知している	9	19.2%

(複数回答あり)

(40) ハラスメントへの対応

質問文：

実習生がおこなったり受けたりしたハラスメントにどのように対応していますか。

図表【1】(40) ハラスメントへの対応

ハラスメントへの対応	回答数と割合 (n=47)	
大学の指導教員が主に実習生に対応している	43	91.5%
大学の指導教員が主に実習校に対応している	39	83.0%
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に実習校に対応している	22	46.8%

図表【1】(40) ハラスメントへの対応 つづき

ハラスメントへの対応	回答数と割合 (n=47)	
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に実習生に対応している	20	42.6%
教育実習実施組織(教育実習実施委員会や教職課程センター等)が主に教育委員会に対応している	11	23.4%
大学の指導教員が主に教育委員会に対応している	10	21.3%
実習におけるハラスメント対応組織が主に実習校に対応している	6	12.8%
実習におけるハラスメント対応組織が主に実習生に対応している	6	12.8%
大学の人権相談部署が主に実習校に対応している	3	6.4%
大学の人権相談部署が主に実習生に対応している	3	6.4%
実習におけるハラスメント対応組織が主に教育委員会に対応している	2	4.3%
大学の人権相談部署が主に教育委員会に対応している	0	0.0%

(複数回答あり)

(41) 臨時休業の場合の教育実習の実施方針

質問文:

気象警報等により実習校が臨時休業になる可能性がある場合の教育実習の実施について方針や定め等がありますか。

図表【1】(41) 臨時休業の場合の教育実習の実施方針

臨時休業の場合の教育実習の実施方針	回答数と割合 (n=47)	
実習生が実習校に実習実施について確認することになっている	41	87.2%
臨時休業の場合、実習生が出勤しなければ当該日は実習日にはならない	37	78.7%
実習校から実習生に実習実施について連絡が入ることになっている	34	72.3%
大学が設定している方針や定め等を実習生に指導している	30	63.8%
実習校が方針や定め等を設定し、大学はそれに従うことになっている	26	55.3%
臨時休業になり児童・生徒が登校しない場合、当該日は実習日にはならない	23	48.9%
臨時休業の場合でも実習生が出勤すれば当該日は実習日になる	23	48.9%
大学が実習校に実習実施について確認することになっている	19	40.4%
実習校と協議して、大学が方針や定め等を設定している	15	31.9%
臨時休業になり児童・生徒が登校しない場合でも当該日は実習日になる	15	31.9%
大学の規程等に基づいて、大学が方針や定め等を設定している	14	29.8%
教育委員会が方針や定め等を設定し、大学はそれに従うことになっている	7	14.9%
大学が設定している方針や定め等を教育委員会と実習校に周知している	5	10.6%
教育委員会と協議して、大学が方針や定め等を設定している	1	2.1%
教育委員会から大学に実習実施について連絡が入ることになっている	1	2.1%

(複数回答あり)

(42) 介護等体験の実施先

質問文：

介護等体験を次の施設や学校等で実施していますか。

図表【1】(42) 介護等体験の実施先

介護等体験の実施先	回答数と割合 (n=47)	
福祉施設や老人保健施設	13	27.7%
特別支援学校	9	19.2%
特別支援学級を設置する学校	0	0.0%
通級による指導を行う学校	0	0.0%
療養等による長期欠席生徒等のための特別の教育課程を編成する学校	0	0.0%
日本語に通じない児童生徒に対する特別の教育課程を編成する学校	0	0.0%
不登校児童生徒のための特別の教育課程を編成する学校	0	0.0%

(複数回答あり)

(43) 介護等体験と教育実習等の関連

質問文：

介護等体験, 学校体験活動, 教育実習をどのように実施していますか。

図表【1】(43) 介護等体験の実施先

介護等体験、学校体験活動、教育実習の実施	回答数と割合 (n=47)	
介護等体験を教職課程の授業に位置づけている	3	6.4%
介護等体験と教育実習を事前事後指導等で関連づけている	2	4.3%
介護等体験と学校体験活動を同じ学校で実施できるようにしている	1	2.1%
介護等体験と学校体験活動を事前事後指導等で関連づけている	1	2.1%
教育実習と介護等体験を兼ねて実施している	0	0.0%
介護等体験と教育実習を同じ学校で実施できるようにしている	0	0.0%

(複数回答あり)

(44) 在外教育施設における教育実習の実績

質問文：

日本人学校などの在外教育施設で教育実習をおこなった実績がありますか。

在外教育施設で教育実習をおこなった実績の回答はありませんでした。

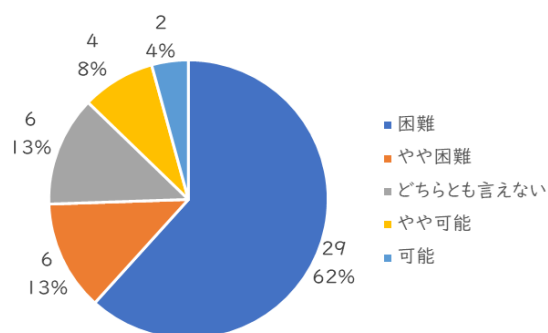
【2】中教審答申を受けた教育実習のあり方

中教審答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」では、理論と実践の往還による省察を取り入れることや教育実習の柔軟な履修形式が提言されています。これに関することについてお尋ねします。

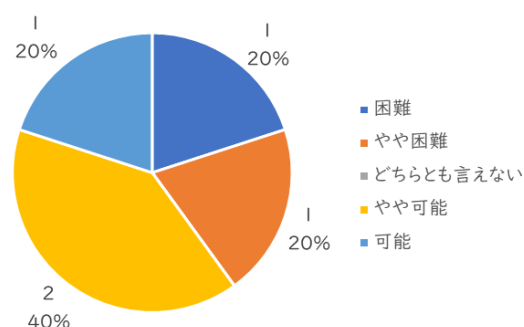
(1) 教育実習実施の早期化

質問文：

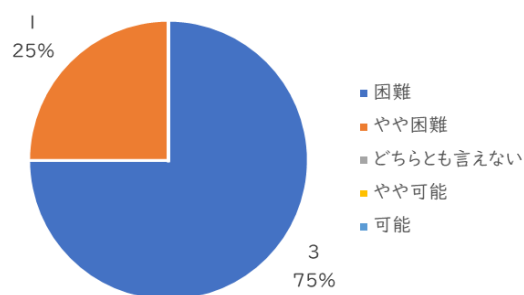
貴学の教育実習の実施時期を今よりも早めることは可能ですか。



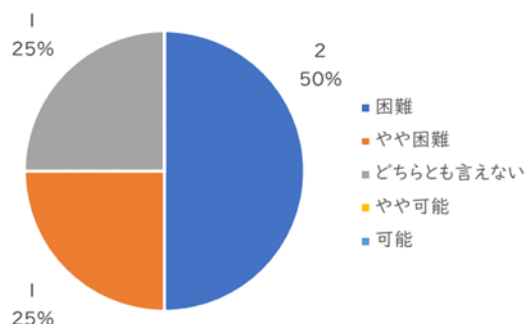
図表【2】(1)① 実施時期の早期化・幼稚園



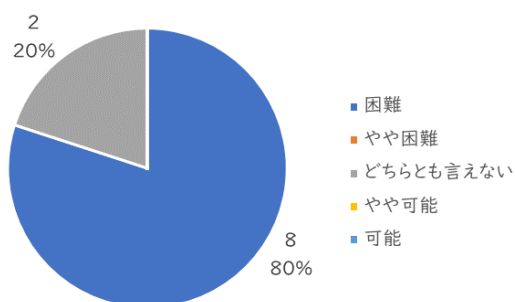
図表【2】(1)② 実施時期の早期化・小学校



図表【2】(1)③ 実施時期の早期化・中学校



図表【2】(1)④ 実施時期の早期化・養護教諭

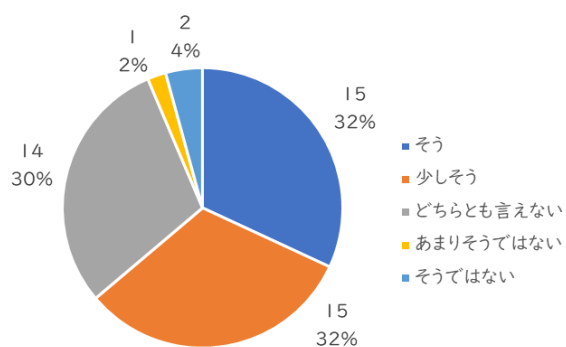


図表【2】(1)⑤ 実施時期の早期化・栄養教諭

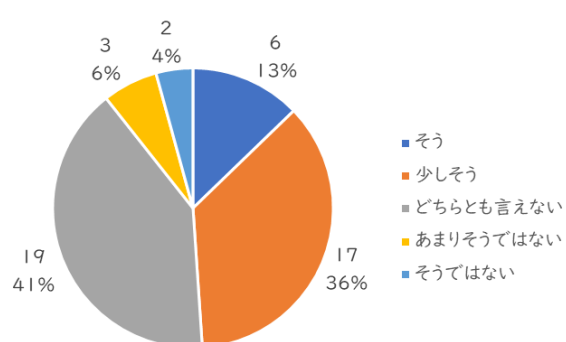
(2) 早期化の影響

質問文：

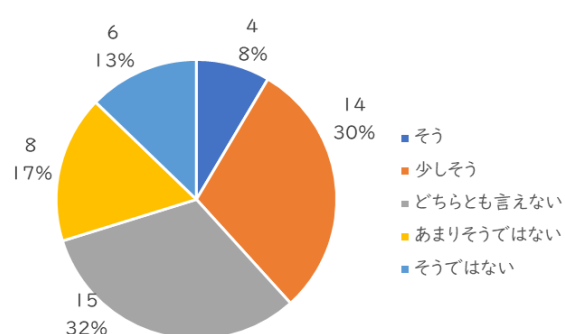
教育実習の実施時期を早めるとどのような影響が考えられますか。



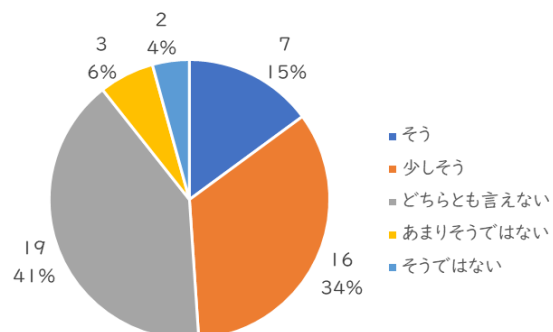
図表【2】(2)① 早くから学校現場や子どものことを知ったり、慣れたりできる



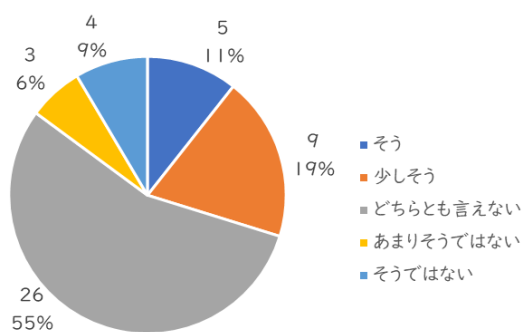
図表【2】(2)② 早くから教職に就く意欲を高めることができる



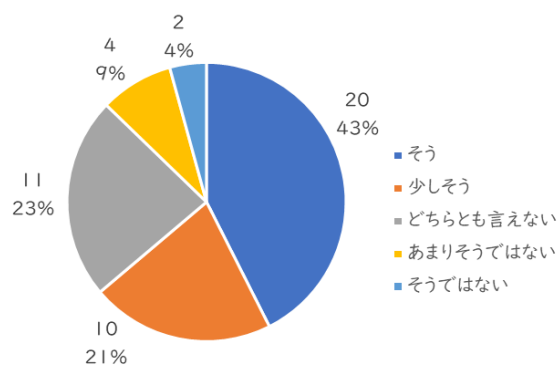
図表【2】(2)③ 教員採用試験と教育実習の時期が重ならなくなる



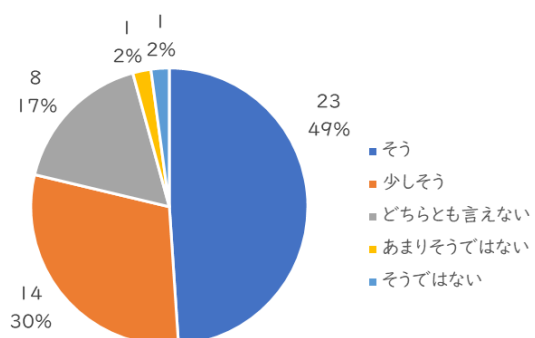
図表【2】(2)④ 学校現場での実践と大学での学修の往還ができる



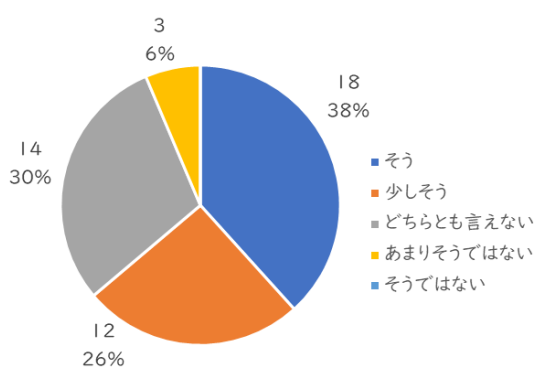
図表【2】(2)⑤ 大学の教職科目の理解を
深めることができる



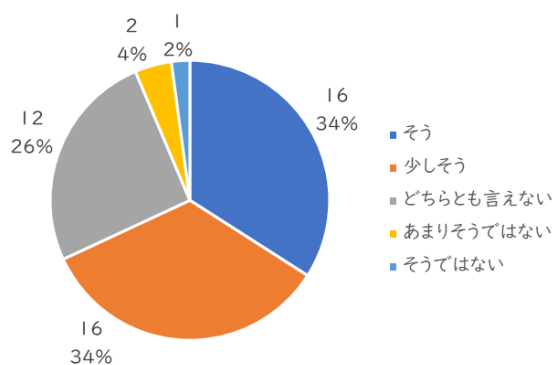
図表【2】(2)⑥ 教職課程を見直す必要が
生じる



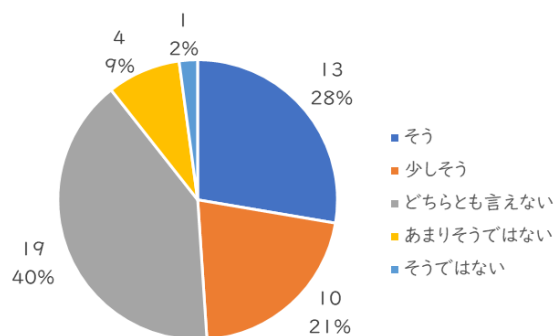
図表【2】(2)⑦ 事前指導を充実させる
必要がある



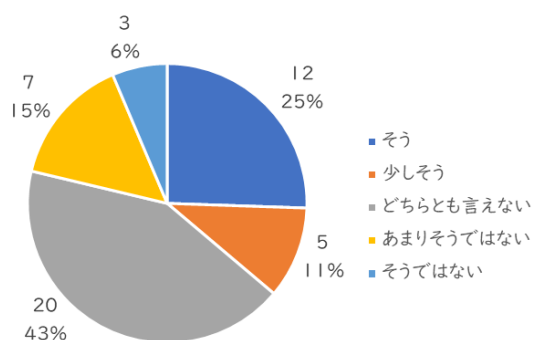
図表【2】(2)⑧ 教育委員会や実習校に
実習を受け入れてもらえるか不安がある



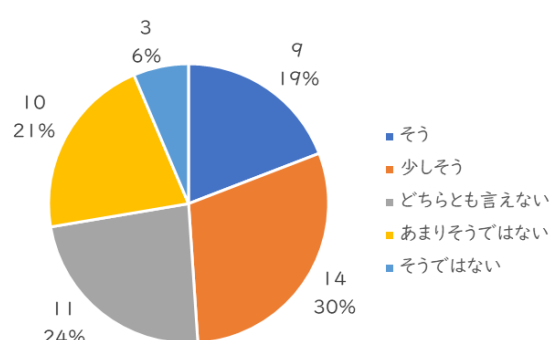
図表【2】(2)⑨ 大学の指導教員の負担
が増える



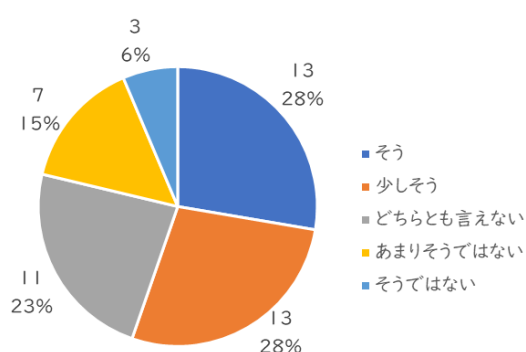
図表【2】(2)⑩ 教育委員会や実習校の
負担が増える



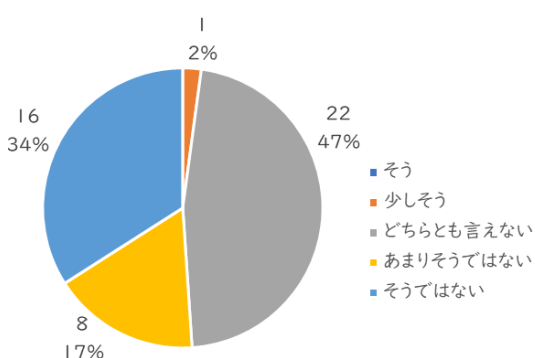
図表【2】(2)⑪ 大学の教務の管理や手続きの負担が増える



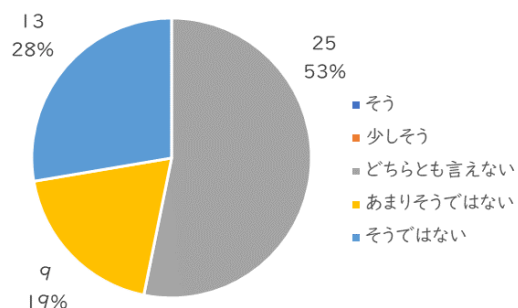
図表【2】(2)⑫ 教育実習の目標や評価を見直す必要がある



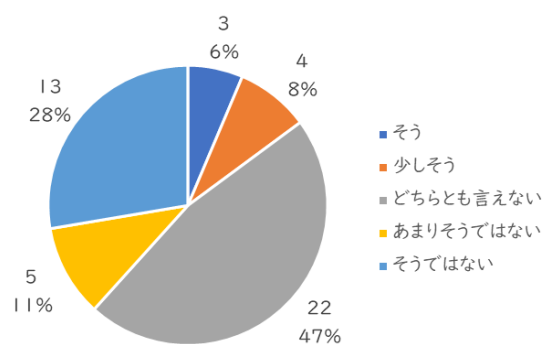
図表【2】(2)⑬ 実習生の学修が十分でないので、実習活動が今より平易になる



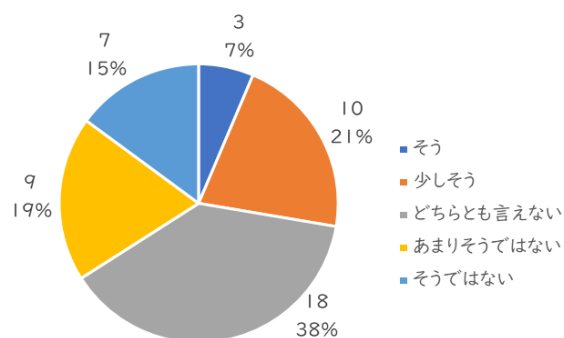
図表【2】(2)⑭ 免許取得者が増える



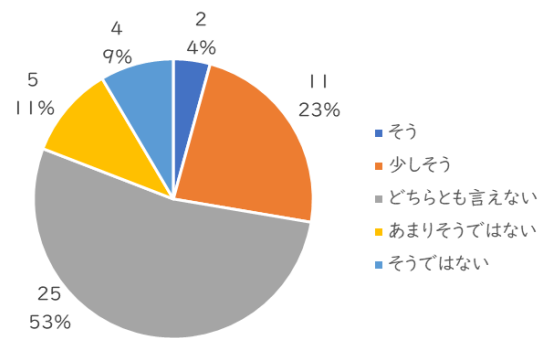
図表【2】(2)⑮ 免許取得が容易になる



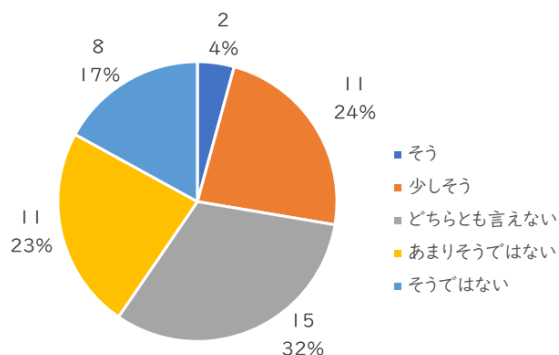
図表【2】(2)⑯ 卒業研究や卒業論文と教育実習の時期が重ならなくなる



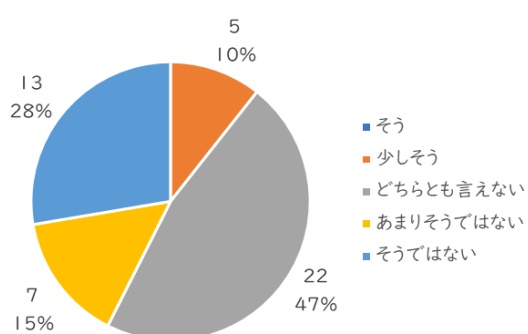
図表【2】(2)⑰ 就職活動と教育実習の時期が重ならない



図表【2】(2)⑱ 教職コアカリキュラムの目標が達成困難になる



図表【2】(2)⑲ ディプロマポリシーを見直す必要がある

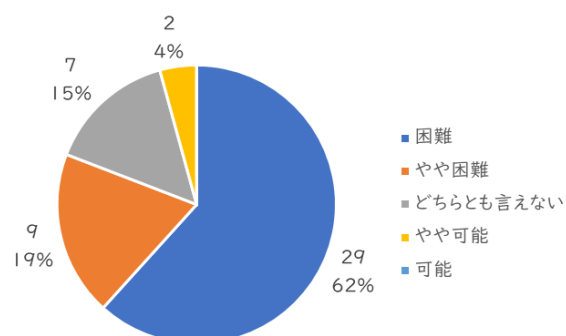


図表【2】(2)⑳ 学生の状況に合わせて実習を履修できる

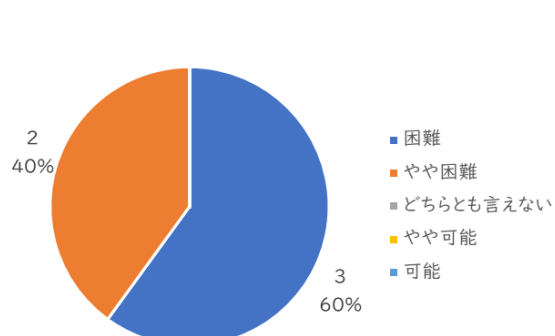
(3) 教育実習実施の分散化

質問文：

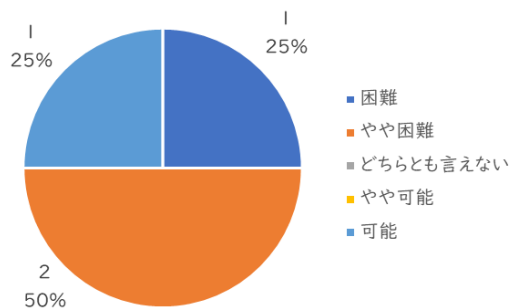
教育実習の実施を分散する（複数回に分けて実施する）ことは可能ですか。現在1回実施の場合は2回以上に分けて実施、現在2回実施の場合は3回以上に分けて実施することを想定して回答してください。



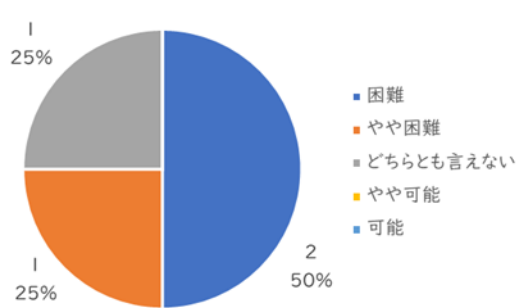
図表【2】(3)① 教育実習の分散化・幼稚園



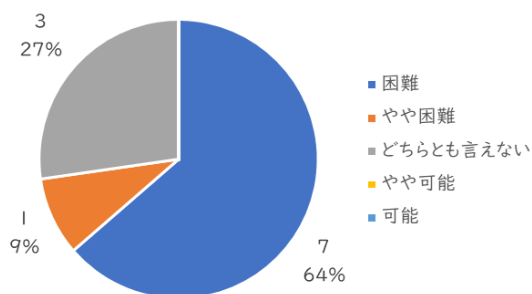
図表【2】(3)② 教育実習の分散化・小学校



図表【2】(3)③ 教育実習の分散化・中学校



図表【2】(3)④ 教育実習の分散化・養護教諭

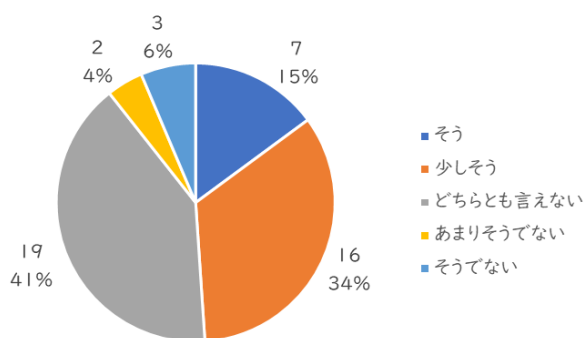


図表【2】(3)⑤ 教育実習の分散化・栄養教諭

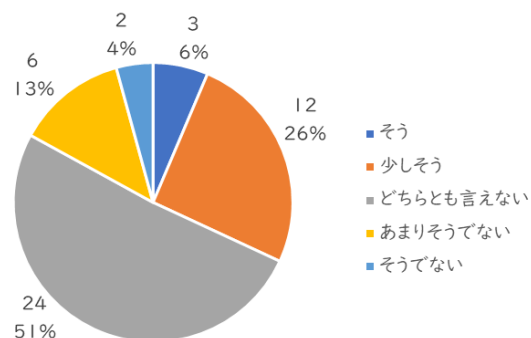
(4) 分散化の影響

質問文：

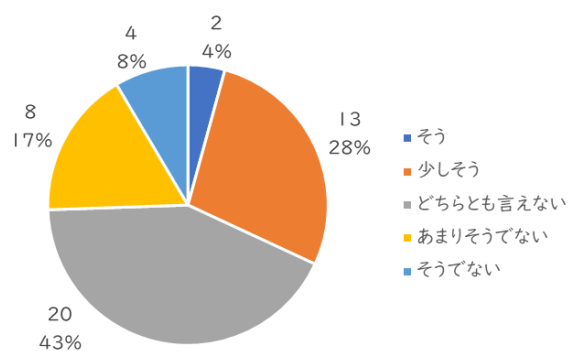
教育実習の実施を分散する（複数回に分けて実施する）とどのような影響が考えられますか。



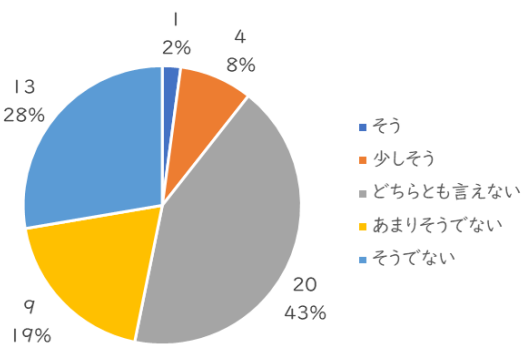
図表【2】(4)① 早くから学校現場や子どものことを知ったり, 慣れたりできる



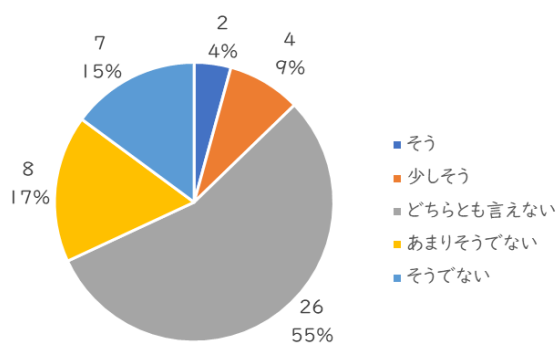
図表【2】(4)② 早くから教職に就く意欲を高めることができる



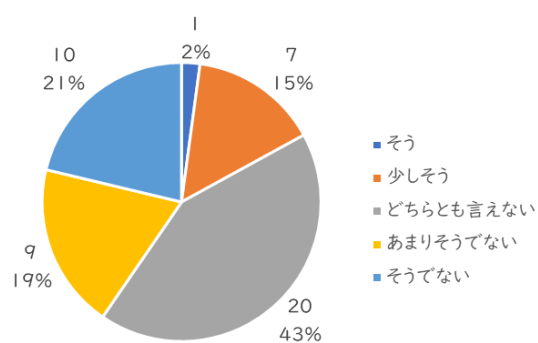
図表【2】(4)③ 大学の教職科目の理解を深めることができる



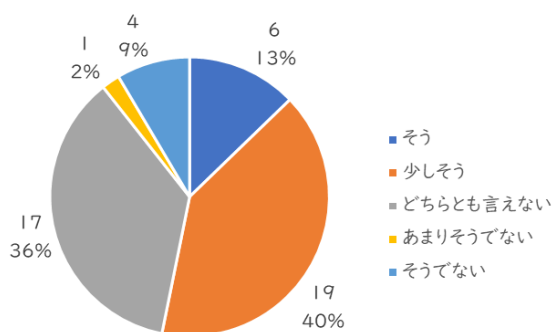
図表【2】(4)④ 卒業研究や卒業論文と教育実習の時期が重ならない



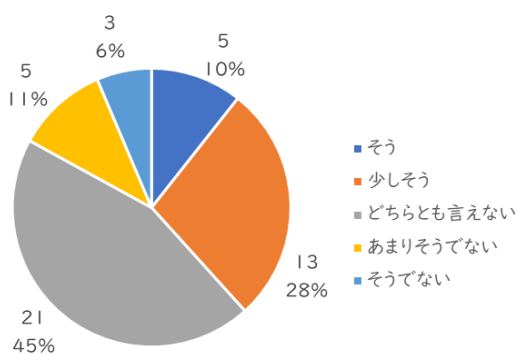
図表【2】(4)⑤ 就職活動と教育実習の時期が重ならない



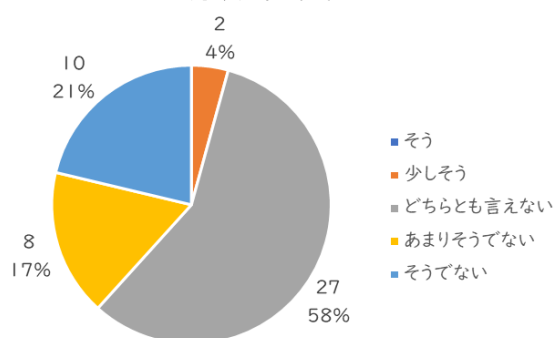
図表【2】(4)⑥ 教員採用試験と教育実習の時期が重ならない



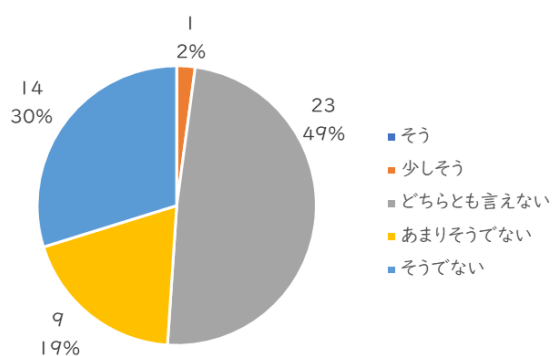
図表【2】(4)⑦ 学校現場での実践と大学での学修の往還ができる



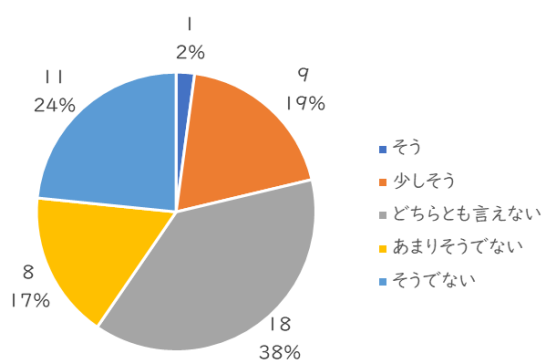
図表【2】(4)⑧ 実習生の学修が十分でないので、実習活動が今より平易になる



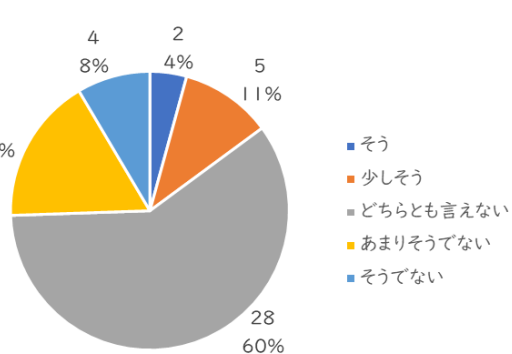
図表【2】(4)⑨ 免許取得が容易になる



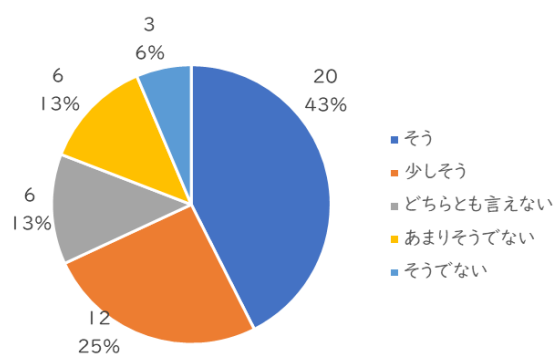
図表【2】(4)⑩ 免許取得者が増える



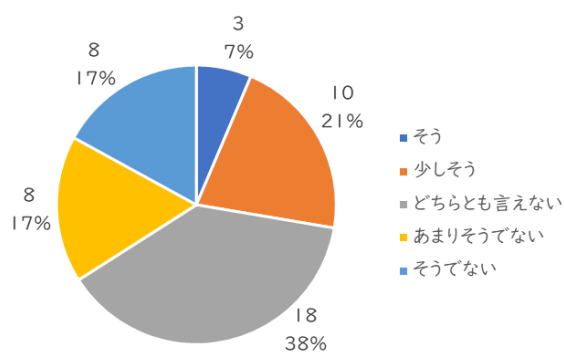
図表【2】(4)⑪ 学生の状況に合わせて
実習を履修できる



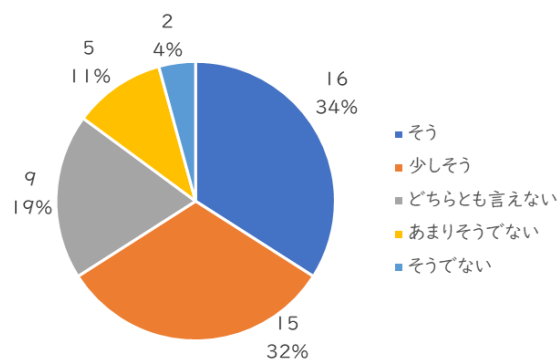
図表【2】(4)⑫ 教職コアカリキュラムの目標が
達成困難になる



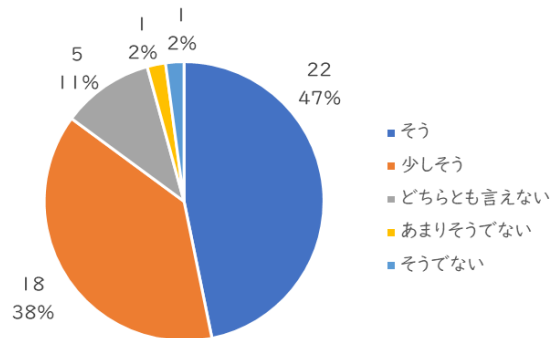
図表【2】(4)⑬ 教職課程を見直す必要が生じる



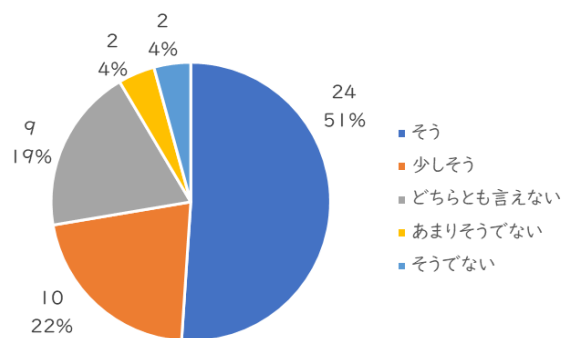
図表【2】(4)⑭ ディプロマポリシーを見直す必要が
ある



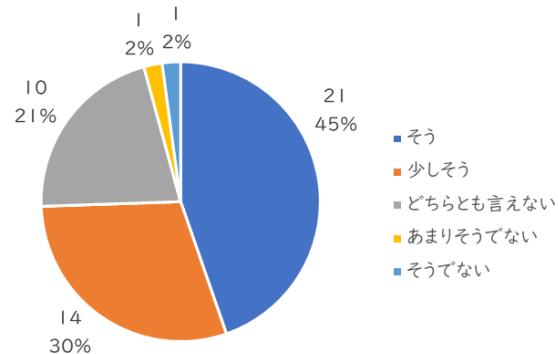
図表【2】(4)⑮ 教育実習の目標や評価を見直す必要がある



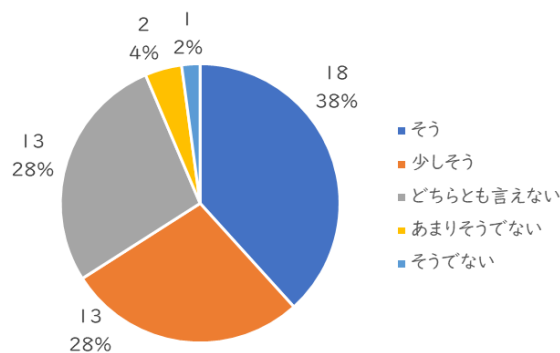
図表【2】(4)⑯ 事前指導の回数を増やす必要がある



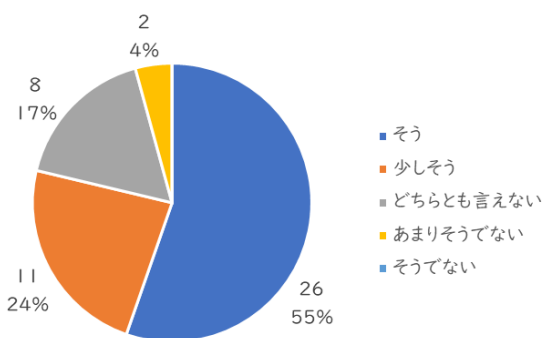
図表【2】(4)⑰ 事前指導を充実させる必要がある



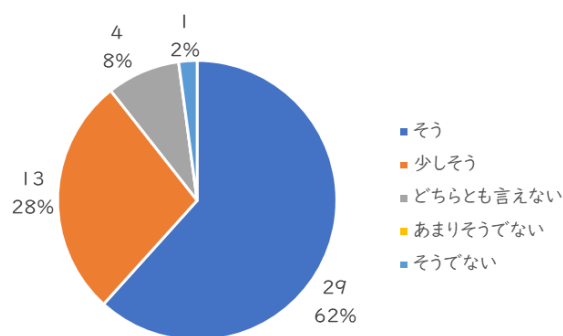
図表【2】(4)⑱ 事後指導の回数を増やす必要がある



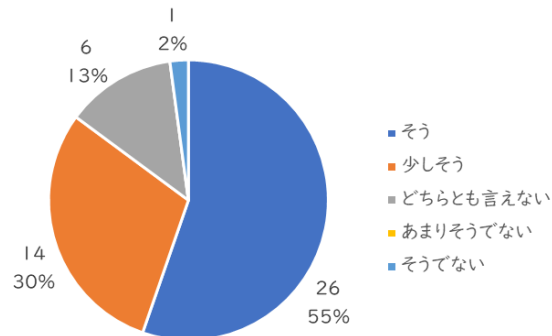
図表【2】(4)⑲ 事後指導の内容を充実させる必要がある



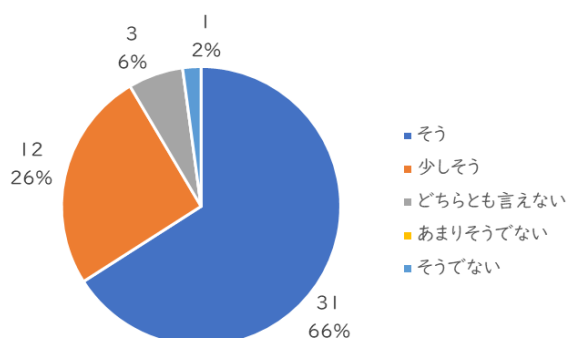
図表【2】(4)⑳ 教育委員会や実習校に実習を受入れてもらえるか不安がある



図表【2】(4)㉑ 教育委員会や実習校の負担が増える



図表【2】(4)㉒ 大学の教務の管理や手続きの負担が増える

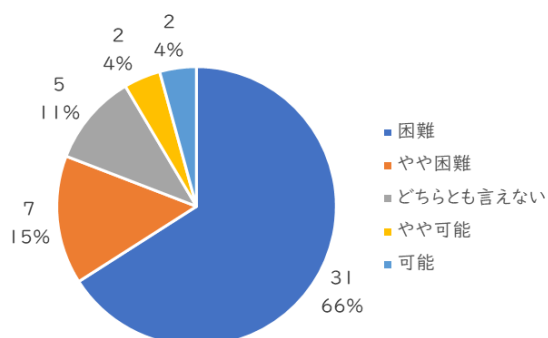


図表【2】(4)㉓ 大学の指導教員の負担が増える

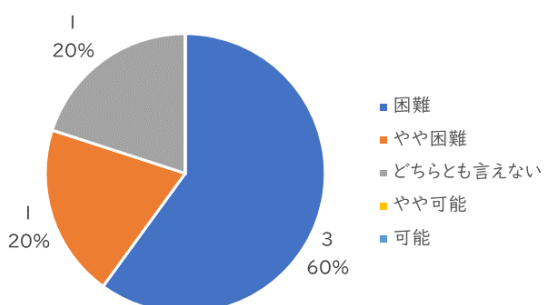
(5) 教育実習の実施曜日等の固定化

質問文：

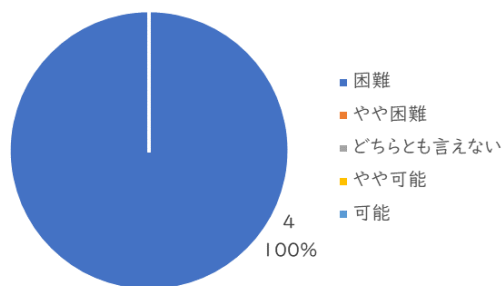
教育実習を通年を通して決まった曜日等を実施することは可能ですか。



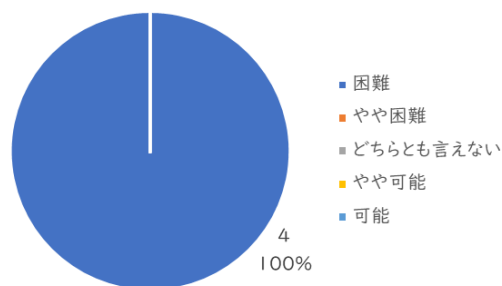
図表【2】(5)① 決まった曜日等の実施・幼稚園



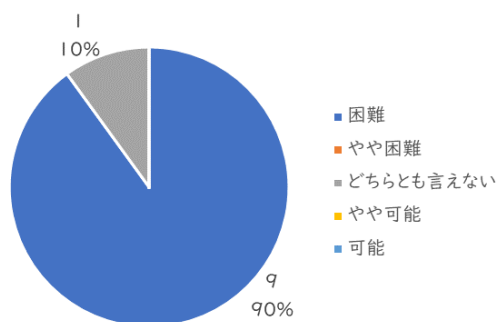
図表【2】(5)② 決まった曜日等の実施・小学校



図表【2】(5)③ 決まった曜日等の実施・中学校



図表【2】(5)④ 決まった曜日等の実施・養護教諭

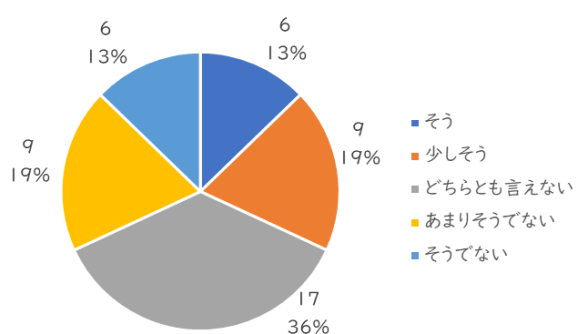


図表【2】(5)⑤ 決まった曜日等の実施・栄養教諭

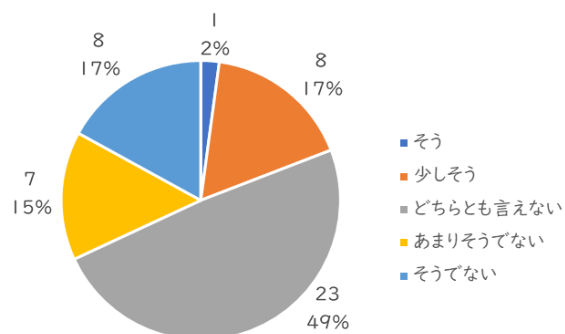
(6) 実施曜日等固定化の影響

質問文：

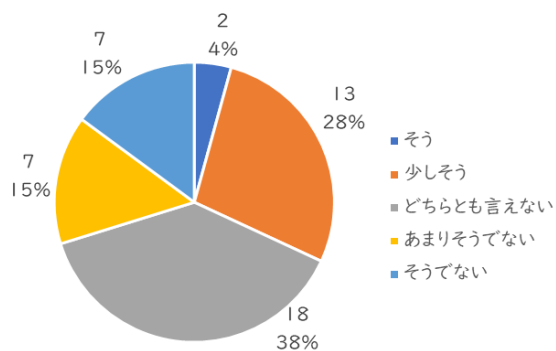
教育実習を通年を通して決まった曜日等を実施するとどのような影響が考えられますか。



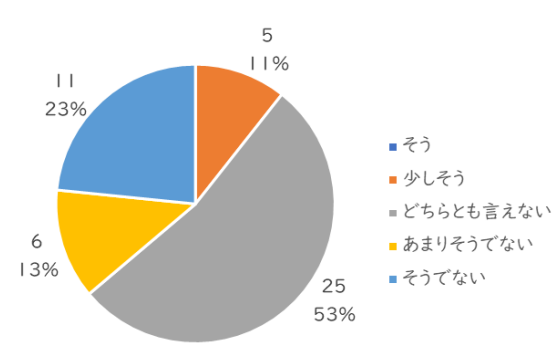
図表【2】(6)① 早くから学校現場や子どものことを知ったり,慣れたりできる



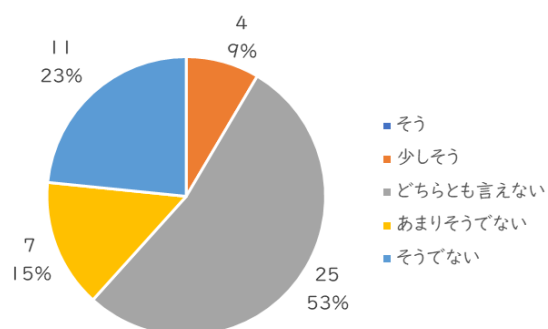
図表【2】(6)② 早くから教職に就く意欲を高めることができる



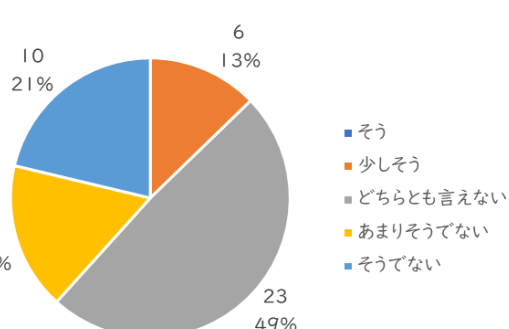
図表【2】(6)③ 大学の教職科目の理解を深めることができる



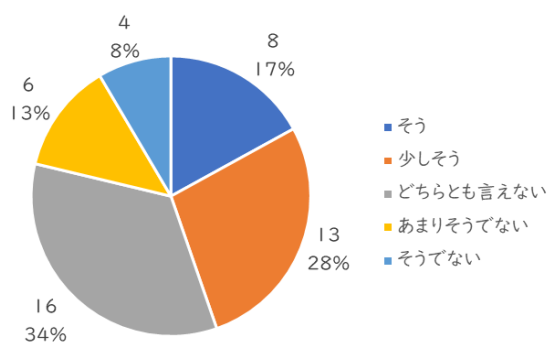
図表【2】(6)④ 卒業研究や卒業論文と教育実習の時期が重ならない



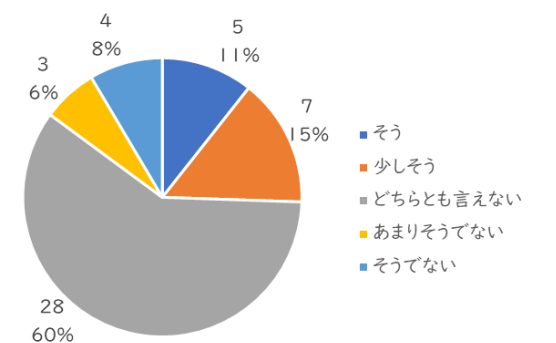
図表【2】(6)⑤ 就職活動と教育実習の時期が重ならない



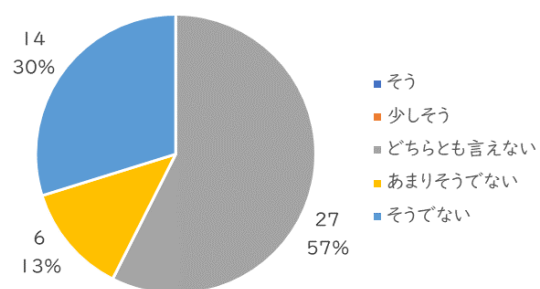
図表【2】(6)⑥ 教員採用試験と教育実習の時期が重ならない



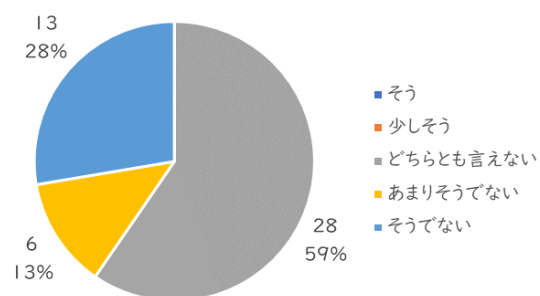
図表【2】(6)⑦ 学校現場での実践と大学での学修の往還ができる



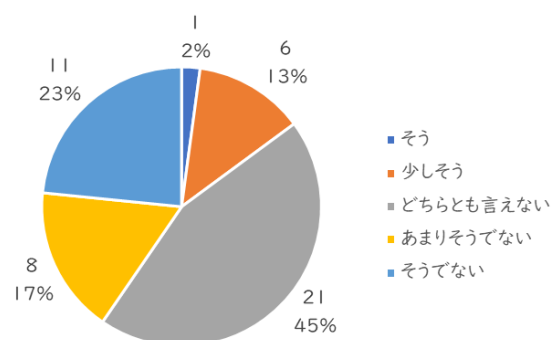
図表【2】(6)⑧ 実習生の学修が十分でないので、実習活動が今より平易になる



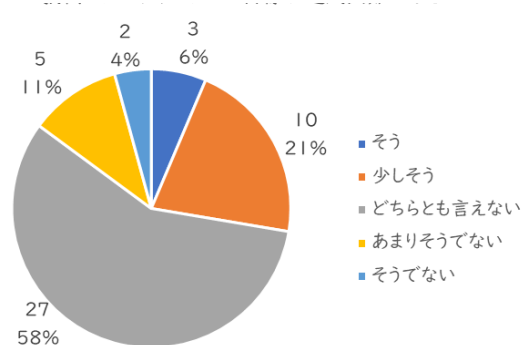
図表【2】(6)⑨ 免許取得が容易になる



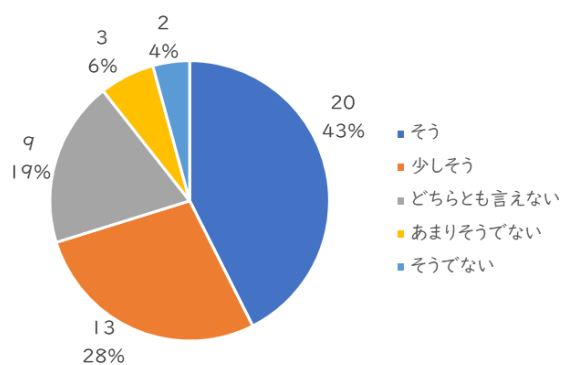
図表【2】(6)⑩ 免許取得者が増える



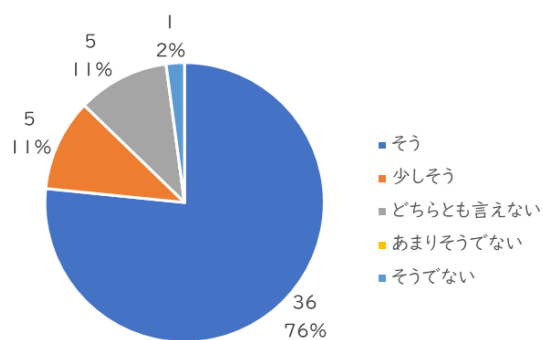
図表【2】(6)⑪ 学生の状況に合わせて
実習を履修できる



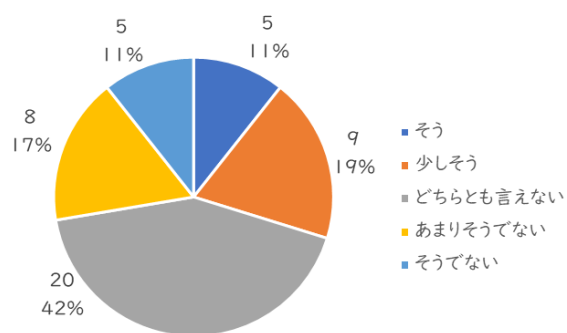
図表【2】(6)⑫ 教職コアカリキュラムの目標が
達成困難になる



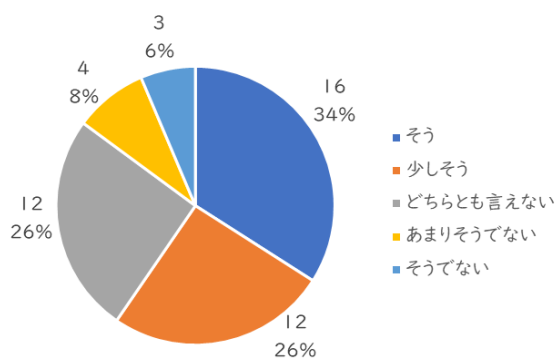
図表【2】(6)⑬ 教職課程を見直す必要が生じる



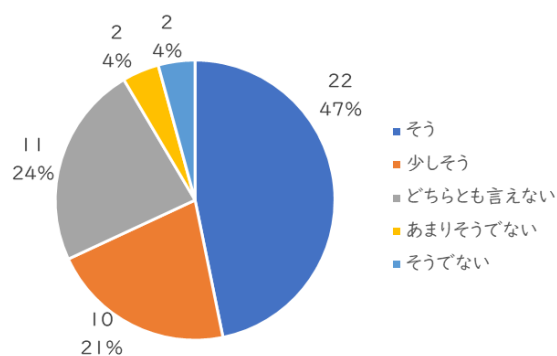
図表【2】(6)⑭ 時間割を変更する必要がある



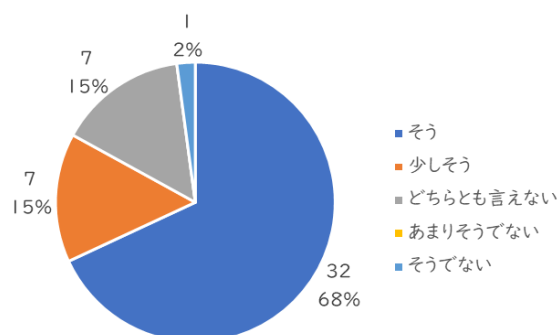
図表【2】(6)⑮ ディプロマポリシーを見直す必要がある



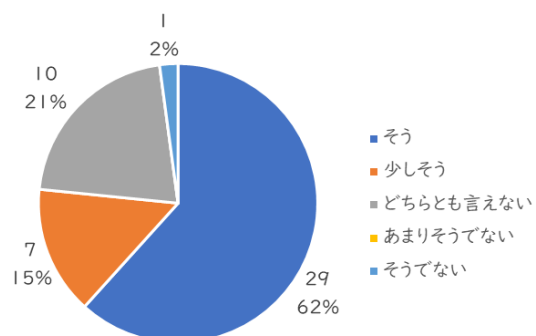
図表【2】(6)⑯ 教育実習の目標や評価を見直す必要がある



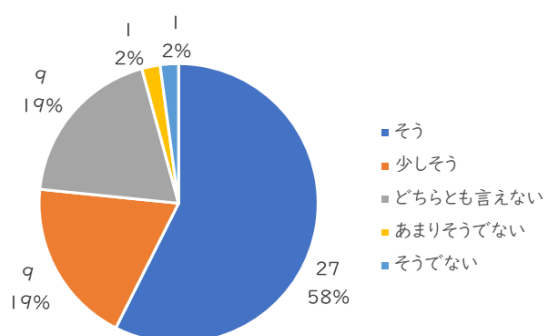
図表【2】(6)⑰ 事前指導を充実させる必要がある



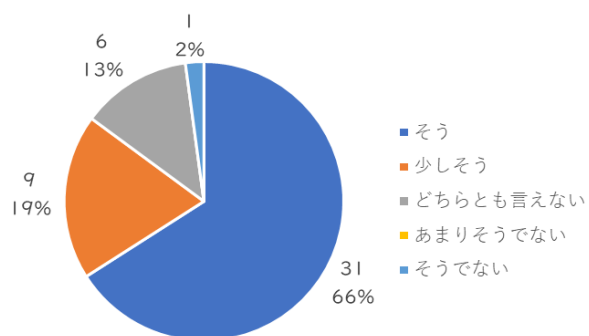
図表【2】(6)⑱ 教育委員会や実習校に実習を受け入れてもらえるか不安がある



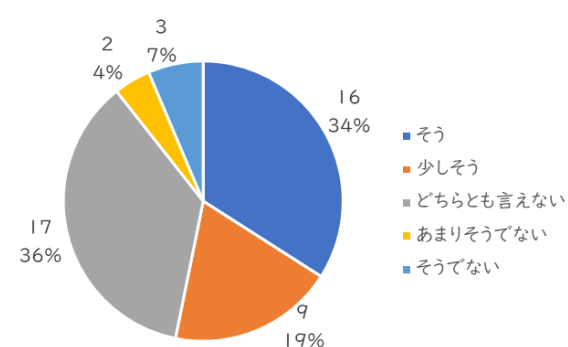
図表【2】(6)⑲ 教育委員会や実習校の負担が増える



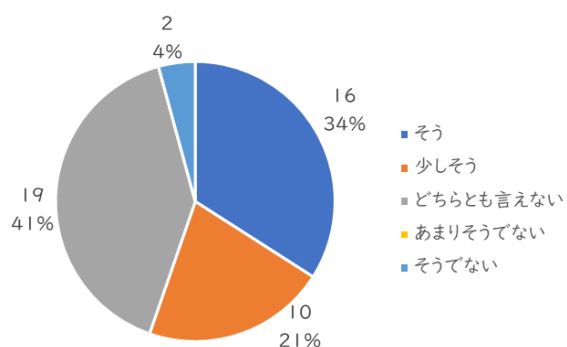
図表【2】(6)⑳ 大学の教務の管理や手続きの負担が増える



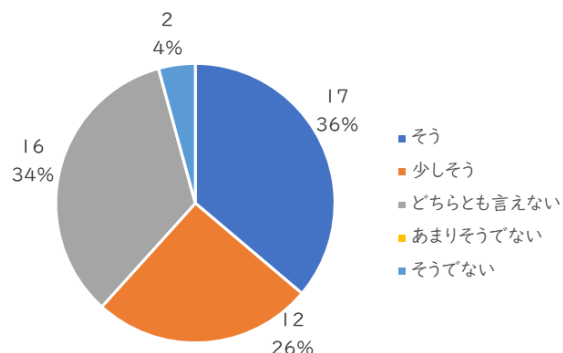
図表【2】(6)㉑ 大学の指導教員の負担が増える



図表【2】(6)㉒ 教育実習と大学の授業の二重履修が生じる



図表【2】(6)㉓ 過当たりの授業時間数が少ない
教科の実習がしにくくなる

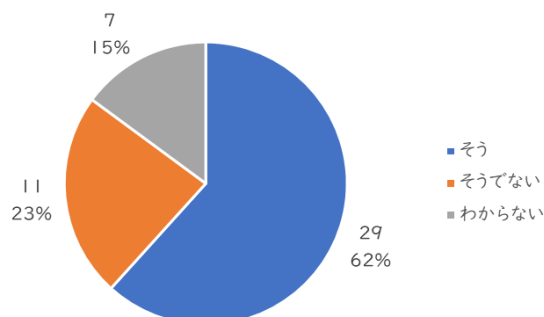


図表【2】(6)㉔ 単元全体を通した教科指導がしにくくなる

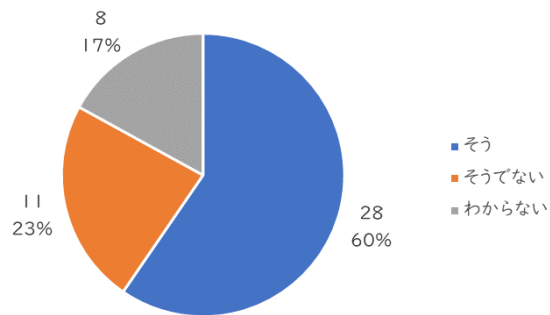
(7) 学校体験活動と大学の授業の結びつき

質問文：

学校体験活動と大学の授業での学修をどのように結びつけていますか。

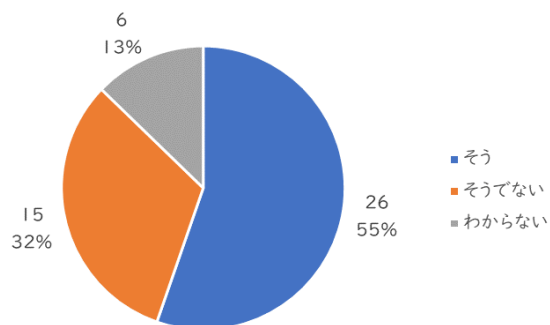


図表【2】(7)① 学校体験活動の事前指導をおこない、
その中で大学の授業での学修とつなげている

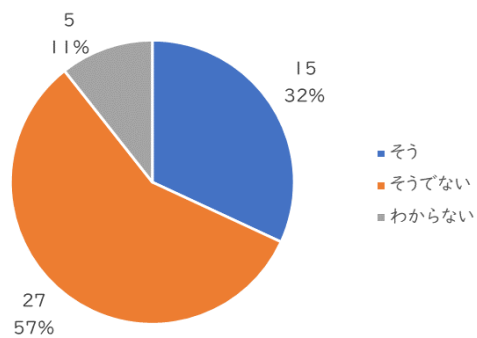


図表【2】(7)② 学校体験活動の事後指導やふりかえりをおこない,
その中で大学の授業での学修とつなげている

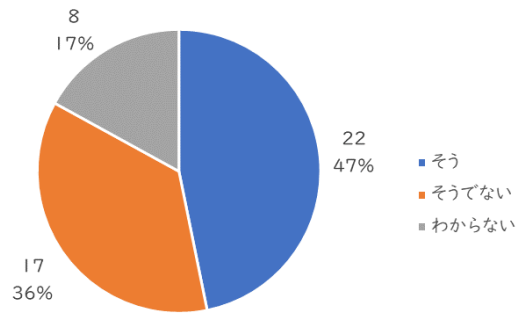
教職実践演習で学校体験活動と大学の授業での学修をつなげている



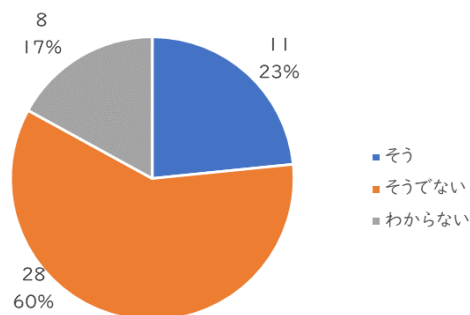
図表【2】(7)③ 教職実践演習で学校体験活動と大学の授業での学修をつなげている



図表【2】(7)④ 学校体験活動での学びや経験について扱う
授業科目(教職実践演習を除く)を設定している



図表【2】(7)⑤ 学校体験活動での学びや経験を
教職科目等の担当教員が裁量や任意で取り上げている

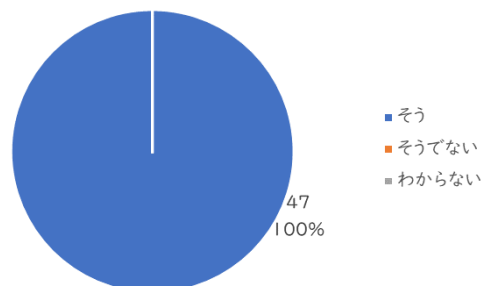


図表【2】(7)⑥ カリキュラムマップやカリキュラムツリーで、
学校体験活動と授業科目の関連を明記している

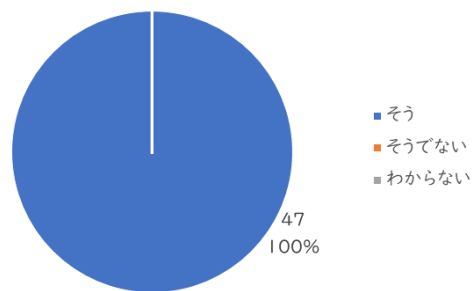
(8) 教育実習と大学の授業の結びつき

質問文：

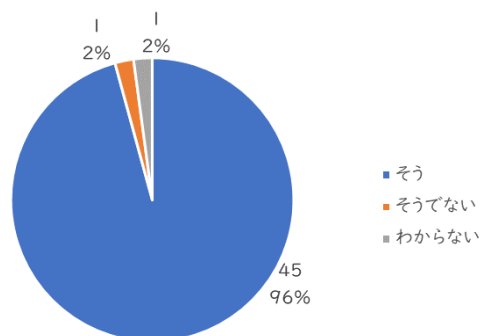
教育実習と大学の授業での学修をどのように結びつけていますか。



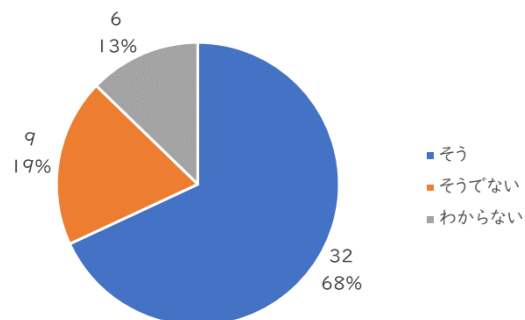
図表【2】(8)① 教育実習の事前指導をおこない、
その中で大学での学修とつなげている



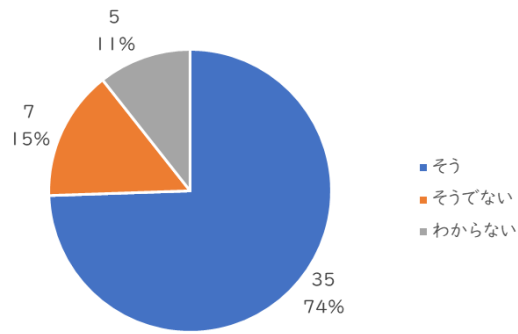
図表【2】(8)② 教育実習の事後指導やふりかえりをおこない、
その中で大学での学修とつなげている



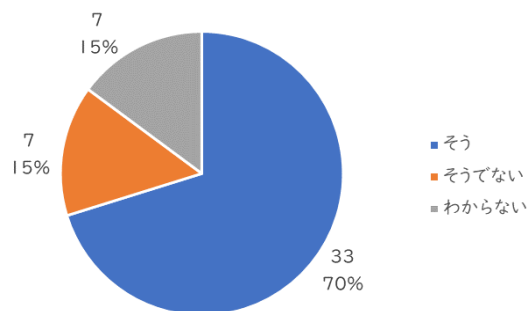
図表【2】(8)③ 教職実践演習で教育実習と大学の授業での学修をつなげている



図表【2】(8)④ 教育実習での学びや経験について扱う
授業科目(教職実践演習を除く)を設定している



図表【2】(8)⑤ 教育実習での学びや経験を教職科目等の担当教員が裁量や任意で取り上げている

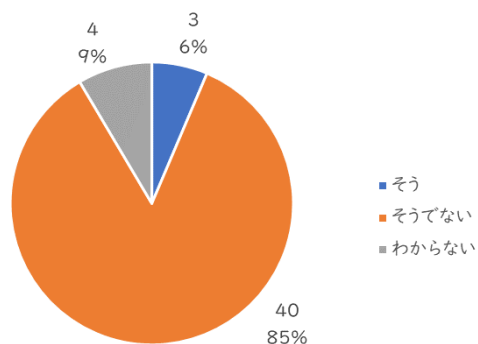


図表【2】(8)⑥ カリキュラムマップやカリキュラムツリーで、教育実習と授業科目の関連を明記している

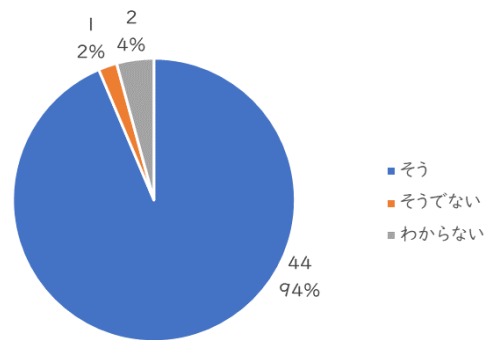
(9) 省察の活動

質問文：

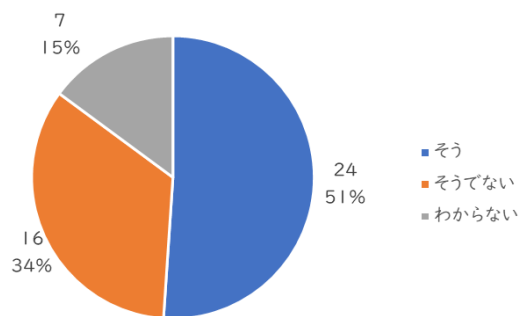
省察の活動をどのようにおこなっていますか。



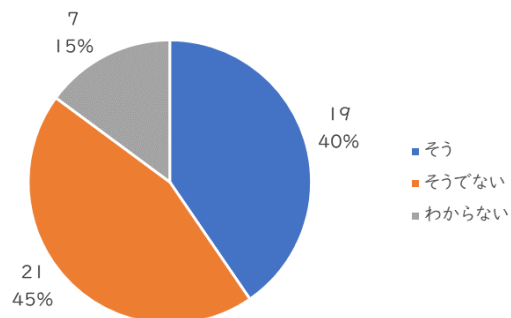
図表【2】(9)① 省察の活動をおこなっていない



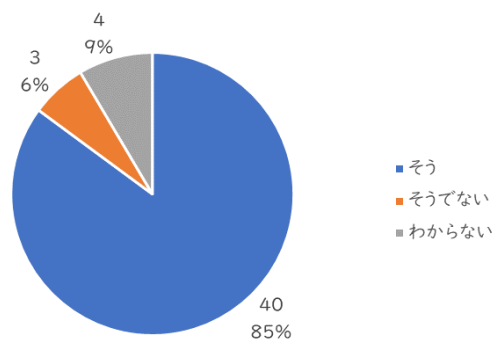
図表【2】(9)② 教育実習とその前後でおこなっている



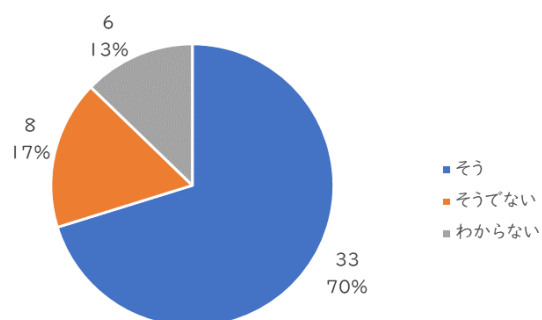
図表【2】(9)③ 学校体験活動とその前後でおこなっている



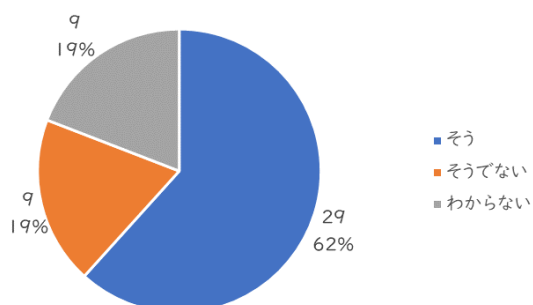
図表【2】(9)④ 学校体験活動と教育実習を省察の活動でつなげている



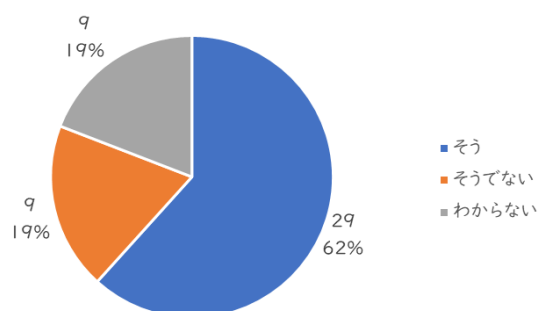
図表【2】(9)⑤ 教育実習と教職実践演習を省察の活動でつなげている



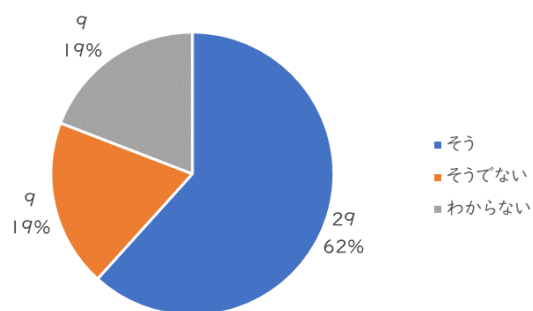
図表【2】(9)⑥ 教職実践演習において4年間の学修を省察させている



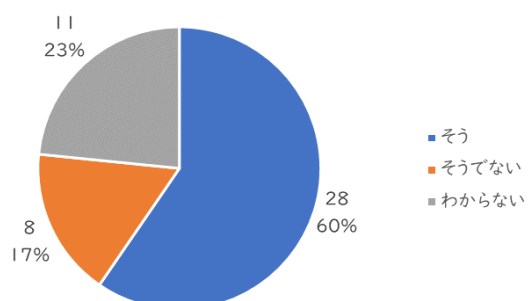
図表【2】(9)⑦ 4年間を通して計画的に省察の活動をおこなっている



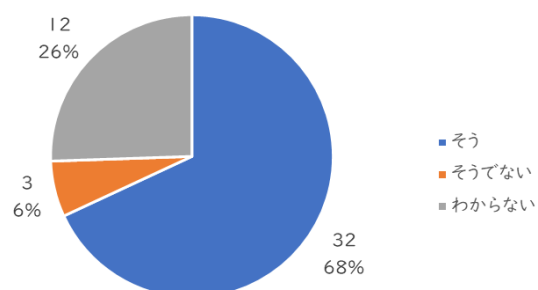
図表【2】(9)⑧ 学生が省察の活動を記録するためのノートやポートフォリオを作っている



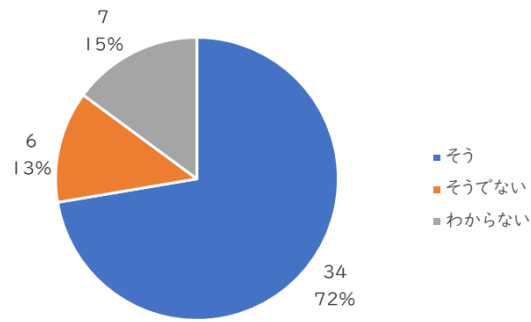
図表【2】(9)⑨ 学科や専攻等で組織的に省察の活動をおこなっている



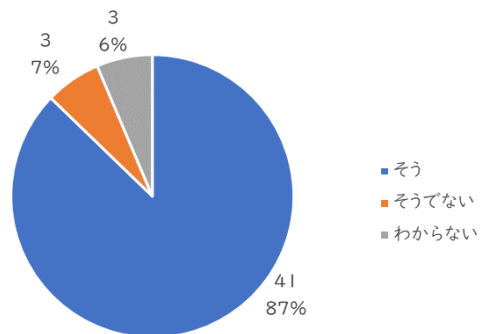
図表【2】(9)⑩ 学生に自主的にあるいは協力して省察の活動をするよう指導している



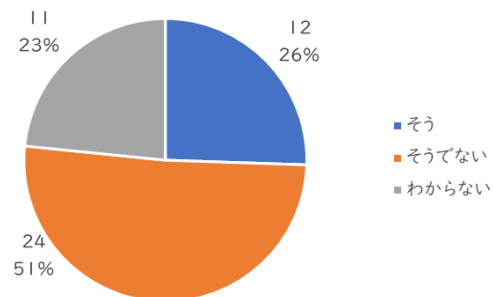
図表【2】(9)⑪ 授業科目の中で省察の理論や方法について学生に指導している



図表【2】(9)⑫ 学校体験活動や教育実習の事前指導等の中で省察の理論や方法について学生に指導している



図表【2】(9)⑬ 大学教員が学生の省察活動を支援,指導している



図表【2】(9)⑭ 省察活動の支援,指導についてFDをおこなっている

おわりに

「理論と実践の往還を通じた教育実習等の在り方に関する研究【webアンケート調査結果の概要・短期大学編】」をご一読いただきありがとうございました。

本調査結果について、ご質問、ご意見等がございましたら、奥付の連絡先までお知らせいただきますれば幸いです。

令和5年度 文部科学省受託事業
教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
理論と実践の往還を通じた教育実習等の在り方に関する研究

webアンケート調査結果の概要：短期大学編

発行日：令和6年3月31日

発行者：国立大学法人 大阪教育大学

582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

E-mail: kyomuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp